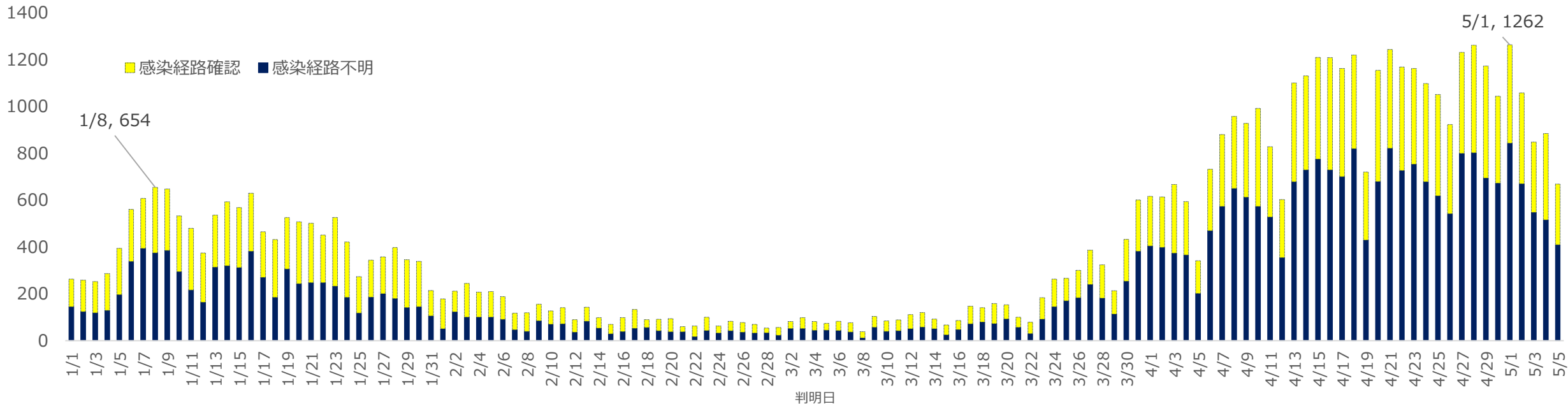


陽性者数の推移



1月9日
緊急事態宣言発出要請

1月14日～2月28日
緊急事態措置
レイトステージ（非常事態）2移行
府民への不要不急の外出自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

2月23日
緊急事態宣言解除要請

3月1日～緊急事態宣言解除
イエローステージ移行
黄信号点灯（医療非常事態宣言解除）
4人以下でのマスク会食の徹底
歓送迎会・謝恩会・宴会に伴う花見の自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請
府民への不要不急の外出自粛要請（21日）
首都圏への往来自粛要請（22日）等

3月31日 まん延防止等重点措置要請

4月1日～
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

4月5日～まん延防止等重点措置適用
重点措置を講じるべき区域（大阪市）
時短要請20時

4月7日 赤信号点灯（医療非常事態宣言）
4月8日 府域における不要不急の外出移動自粛要請

4月9日 週末の外出移動自粛要請
4月14日 大学等でのオンライン授業実施や学校での部活動休止、テレワーク徹底等を要請

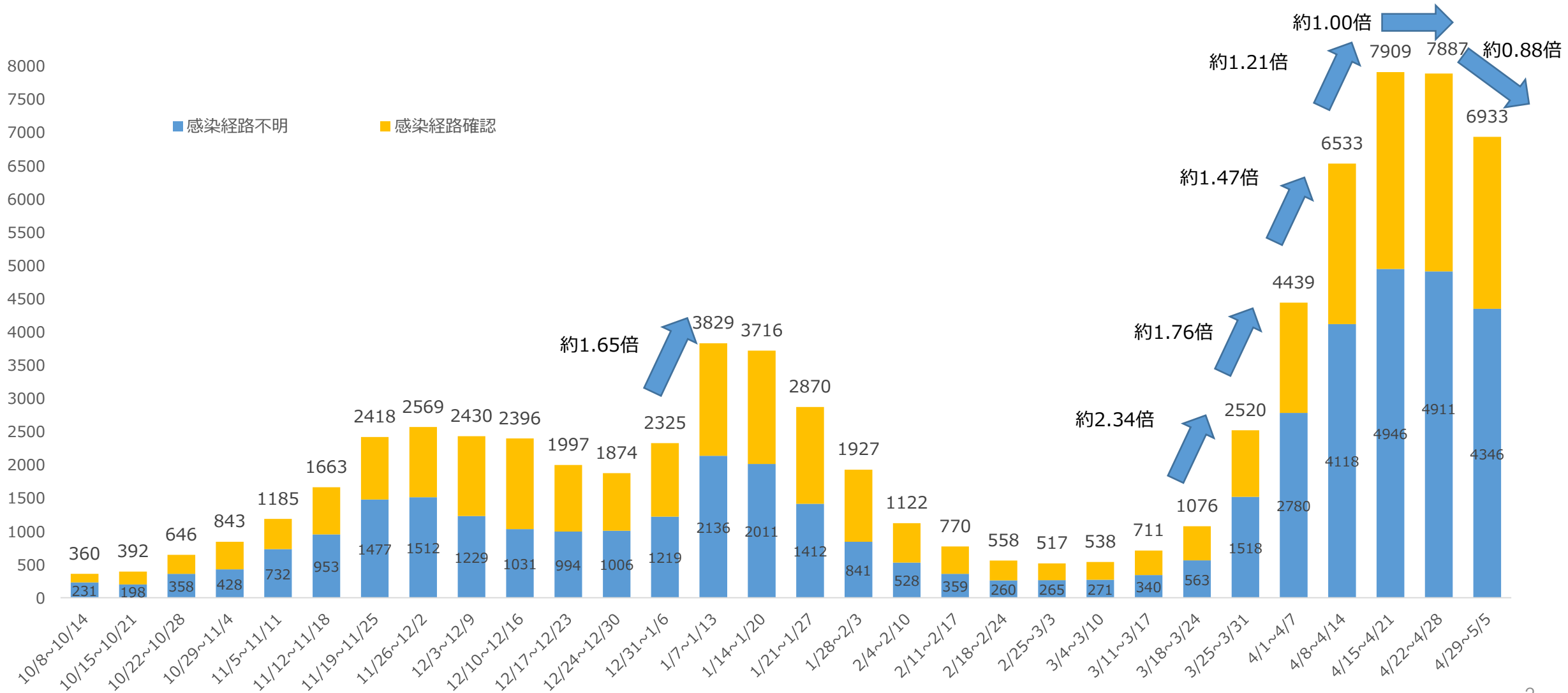
4月20日 緊急事態宣言発出要請

4月23日 緊急事態宣言発出決定

4月25日 緊急事態措置適用（5/11）
不要不急の外出自粛要請、飲食店・一部施設への休業要請等

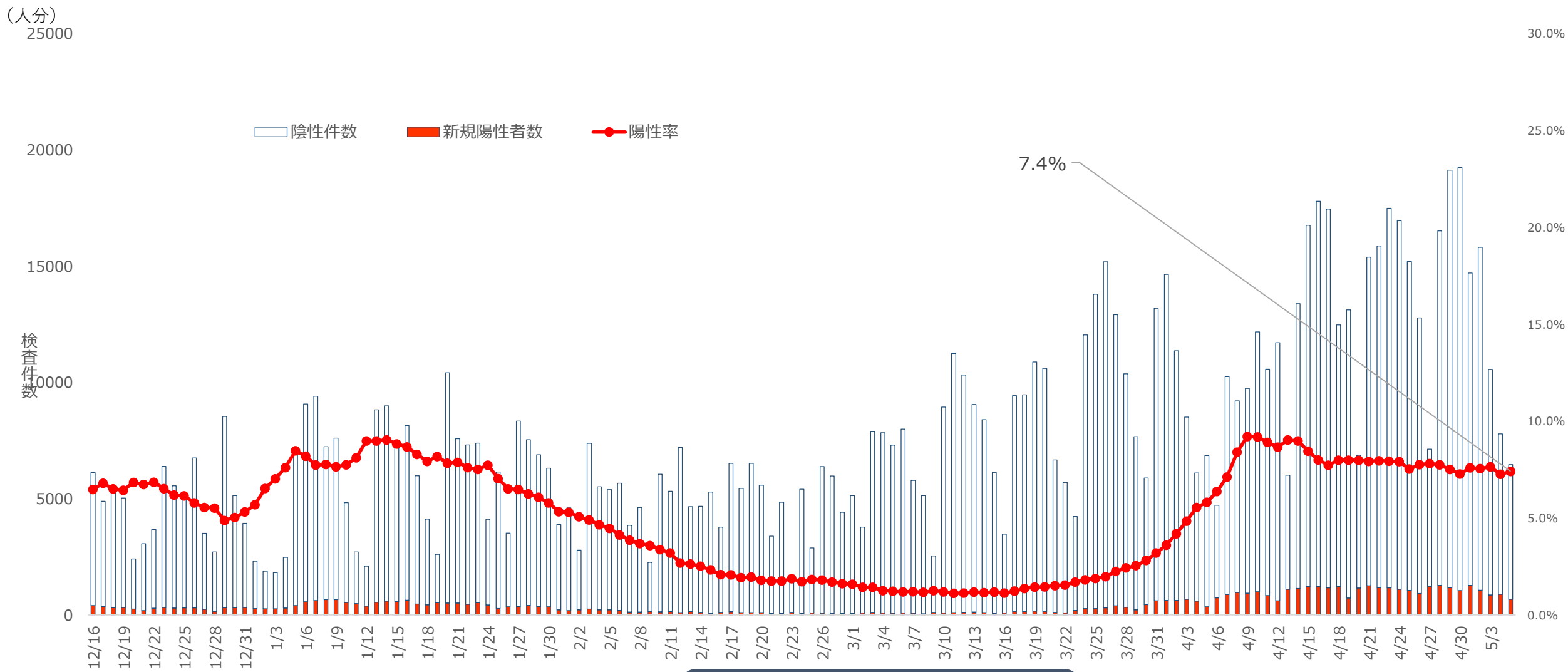
7日間毎の新規陽性者数

直近1週間は前週に比べ減少しているが、一日平均約990名であり、極めて高水準で推移。
ゴールデンウィーク中の検査数減少に伴い、6日以降の新規陽性者数の推移に留意が必要。



検査件数と陽性率

4月以降、約8%前後と高い水準で推移。(ゴールデンウィーク中、検査件数は減少)



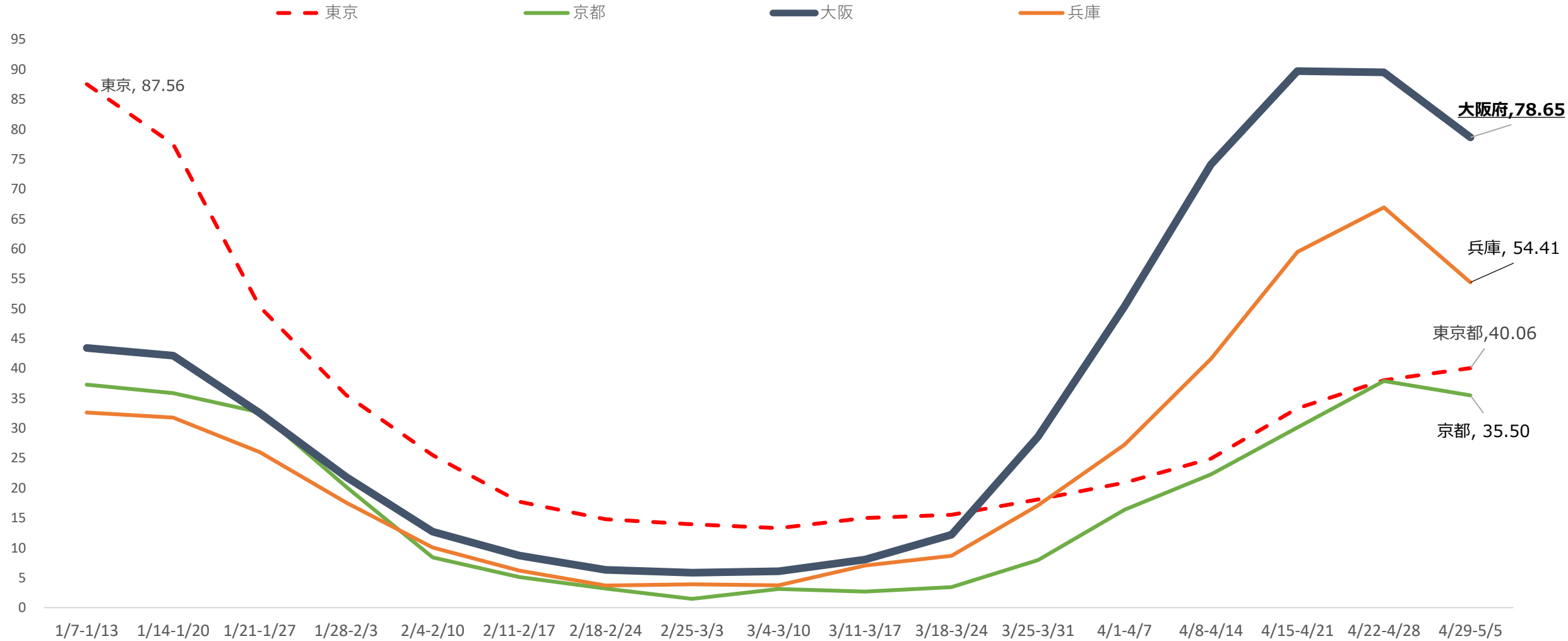
4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5
16515	19123	19239	14699	15809	10558	7781	6465

※12月15日より国システム (G-MIS) を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数 / 1週間の検体採取をした人数」に変更

判明日

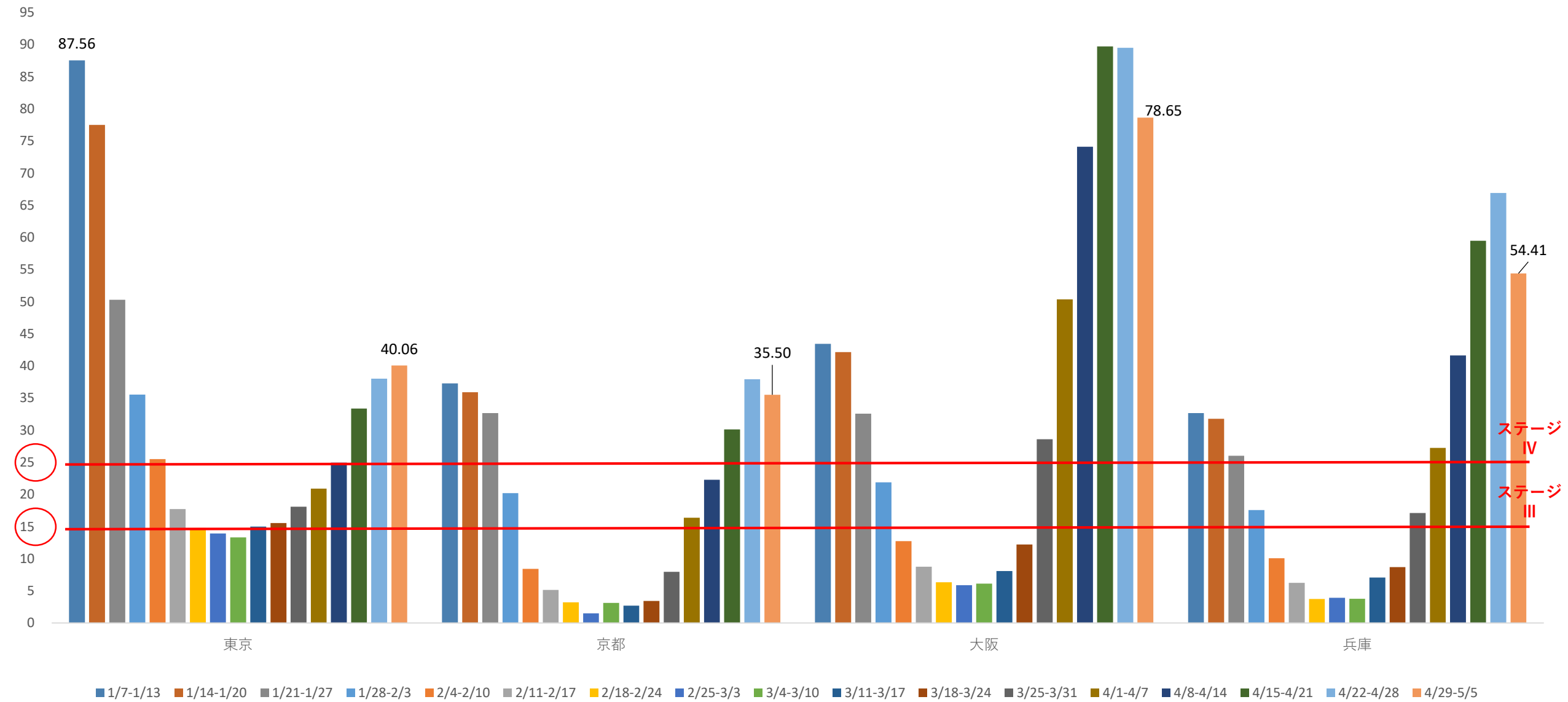
週・人口10万人あたり新規陽性者数(緊急事態措置適用区域)

直近1週間で、2府1県は減少に転じている。



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

週・人口10万人あたり新規陽性者数 (緊急事態措置適用区域)



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

「大阪モデル」モニタリング指標の状況

直近2日間は、市中での感染拡大状況や新規陽性患者の拡大状況の指標にやや改善傾向が見られるが、病床等のひっ迫はさらに強まっている。

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	4/20	4/23	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	現在の状況
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	1.23	1.13	0.98	1.01	1.07	1.04	0.96	0.88	5/4以降1を下回る
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	—	10人未満	693.43	703.00	685.43	709.00	716.43	717.29	676.86	620.86	5/4以降減少
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	58.8%	64.8%	64.3%	66.7%	63.3%	64.6%	58.3%	61.2%	3/24以降、50%を超過したまま推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	—	7797	7822	7774	7939	7946	7871	7525	6933	5/5に7000人を下回る
	うち後半3日間		—	—	—	3091	3570	3475	3477	3362	3166	2788	2399	
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	88.45	88.73	88.19	90.06	90.14	89.29	85.37	78.65	5/3以降減少
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	8.0%	7.9%	7.3%	7.6%	7.5%	7.6%	7.3%	7.4%	3/14以降、8%前後で高止まり
(3) 病床等のひっ迫状況	⑤患者受入重症病床利用率（運用率）	—	70%以上 （「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内）	7日間連続 60%未満	60%未満	114.7% (99.2%)	123.2% (97.2%)	153.1% (98.3%)	157.6% (98.3%)	158.9% (98.6%)	160.7% (99.7%)	159.4% (98.9%)	166.1% (103.0%)	5/5に重症病床運用率が100%を超過
	【参考③】患者受入軽症中等症病床利用率	—	—	—	—	78.9%	81.3%	79.7%	77.2%	78.2%	76.7%	80.9%	82.4%	5/4以降8割を超過
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数利用率	—	—	—	—	39.6%	46.7%	52.9%	52.6%	52.1%	52.6%	51.5%	50.4%	4/25以降、5割を超過

- ・大阪モデルの重症病床利用率は、病床確保計画の確保病床数224床で算出。重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を除く。
- ・括弧内は、病床確保計画の確保病床数（224床）を上回って確保した病床数を含んだ運用病床に占める、重症病床入院者数（※）の割合。
（※）対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を除き、かつ、医療機関が重症病床として運用計画を大阪府に提出していない病床に入院している重症者数を含む。

4/20 緊急事態宣言発令要請を決定（第46回対策本部会議）
4/23 緊急事態宣言発令決定、府としての措置を決定（第47回対策本部会議）

新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

緊急事態宣言発令決定の4/23以降も、各指標に改善傾向は見られない。
 (緊急事態措置の効果が表れると考えられるのは、5/9以降)

指標		ステージIV 目安	3/1	4/1	4/23	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/5時点の 目安に対する状況		
ステージIV	医療提供体制等の負荷	医療の逼迫具合	①確保病床占有率	50%以上	30.4% (601/1,978)	42.6% (847/1,990)	83.5% (1,751/2,097)	82.5% (1,974/2,394)	80.3% (1,968/2,450)	81.2% (1,994/2,455)	80.2% (1,968/2,455)	83.5% (2,051/2,455)	85.5% (2,108/2,466)	●
			②入院率	25%以下	56.1% (601/1,072)	23.3% (847/3,630)	11.0% (1,751/15,874)	10.3% (1,974/19,118)	10.0% (1,968/19,705)	9.9% (1,994/20,146)	9.7% (1,968/20,269)	10.0% (2,051/20,528)	10.0% (2,108/20,210)	●
			③重症病床確保病床占有率	50%以上	35.0% (143/408)	29.3% (135/460)	66.0% (346/524)	75.6% (445/589)	80.0% (479/599)	80.2% (482/601)	80.9% (486/601)	80.4% (483/601)	82.9% (498/601)	●
			④人口10万人あたり療養者数	30人以上	12.16	41.18	180.08	216.88	223.54	228.54	229.94	229.87	229.27	●
	感染の状況	⑤陽性率 1週間平均		10%以上	1.6%	3.6%	7.9%	7.3%	7.6%	7.5%	7.6%	7.3%	7.4%	○
		⑥直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数		25人以上	5.67	32.56	88.73	88.19	90.06	90.14	89.29	85.37	78.65	●
		⑦感染経路不明割合 1週間平均		50%以上	47.4%	61.0%	62.9%	61.7%	62.5%	63.1%	63.8%	63.0%	62.7%	●

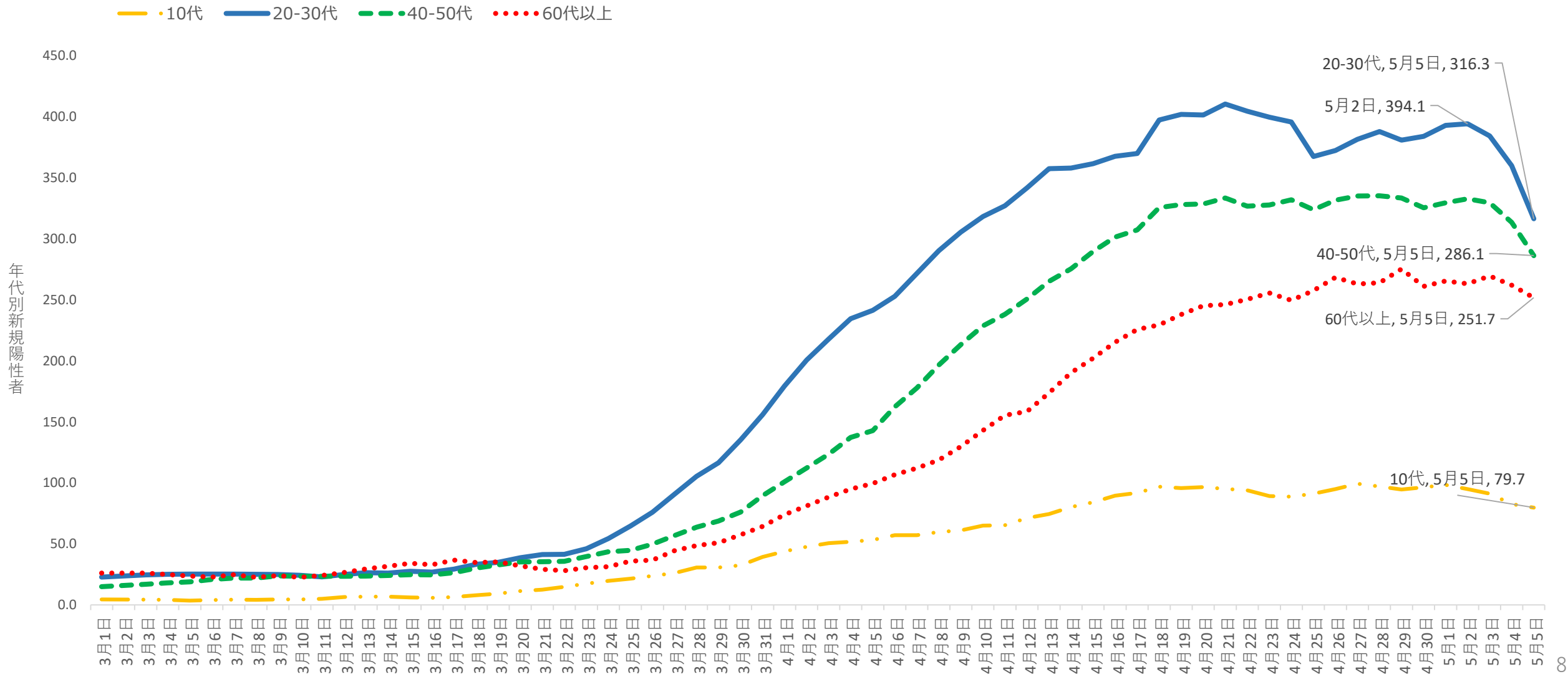
入院率は、人口10万人あたり療養者数が10人以上の場合に適用する。ただし、新規陽性者が発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している場合には適用しない。
 重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除き、他府県で受け入れている重症者数は含む。

●：基準外 ○：基準内

4/20 緊急事態宣言発令要請を決定（第46回対策本部会議）
 4/23 緊急事態宣言発令決定、府としての措置を決定（第47回対策本部会議）

年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

20・30代新規陽性者数は5月3日以降減少に転じ、他の年代も同様に減少傾向。



【第四波】推定感染日別陽性者数

推定感染日別陽性者は4月中旬まで高止まりが続いた後、減少に転じている。

(ただし、4月6日以降、発症日不明の割合が10%を超過したことから、発症日不明の新規陽性者については、仮定に基づく推定のもと、計上。)

(3月1日以降5月5日までの判明日分) (N=32,605名(調査中、無症状6,176名を除く))

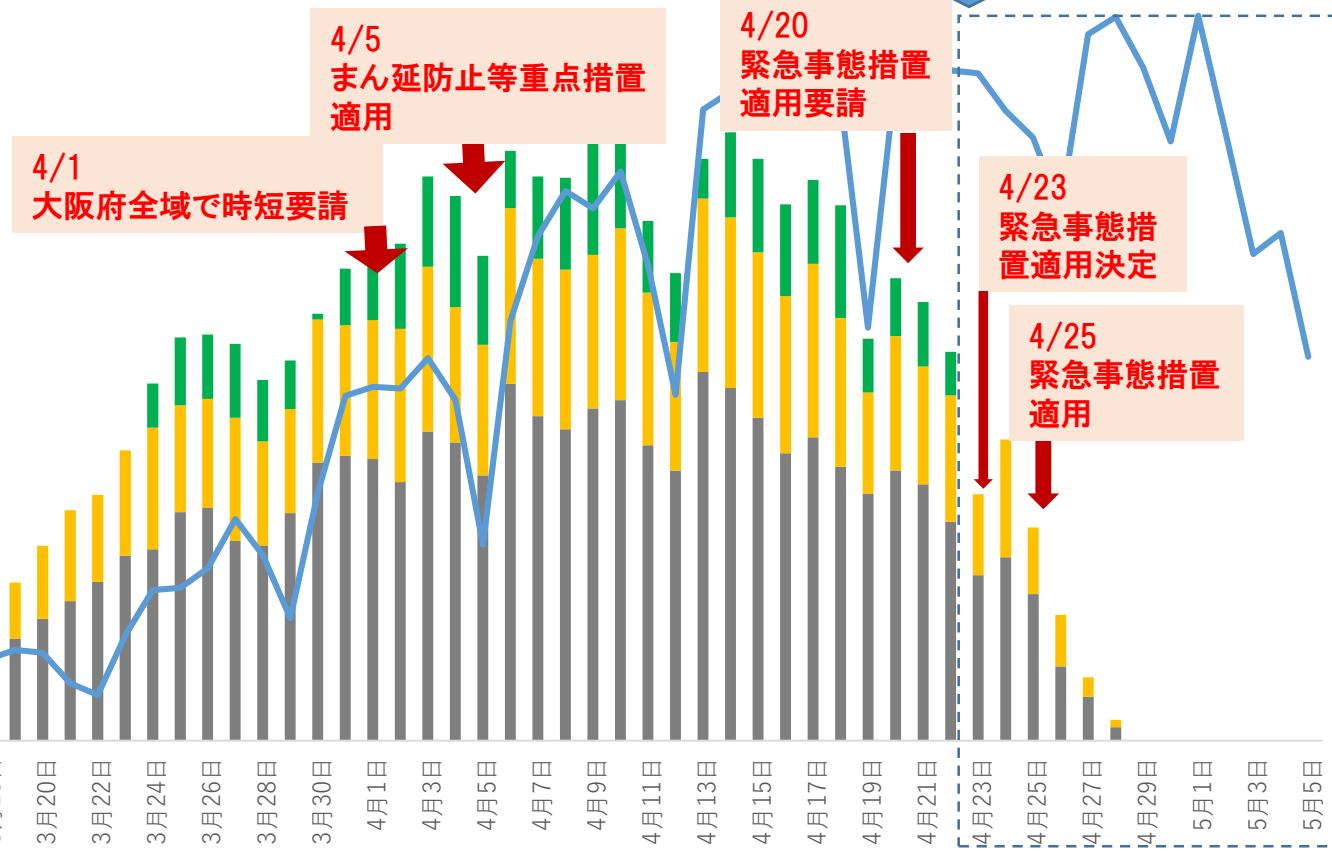
感染から発症まで6日、
発症から陽性判明まで7日と仮定すると、
概ねこの点線枠囲み期間は、
今後、新規陽性者の発生に伴い、増加。

陽性者数

■ 感染経路不明(推定感染日別) ■ 感染経路確認(推定感染日別) ■ 発症日不明事例 — 新規陽性者数(判明日別)

※推定感染日：発症日から6日前と仮定
潜伏期間は1-14日間(一般的には約5-6日)とされていることから、6日前と仮定
(「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(R2.5.25変更)」より)

※新規陽性者増加に伴い、有症状で発症日が確認
できなかった事例について、陽性判明日から13日
遡って算出
(陽性者数に占める発症日不明の割合が10%を
越えた4/6分より追加)



	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5
有症状の陽性者 数に占める発症 日不明の割合	1.1%	1.7%	2.3%	1.9%	4.7%	0.9%	2.5%	10.5%	13.4%	11.7%	13.9%	11.1%	10.4%	1.7%	9.2%	9.0%	12.3%	13.0%	16.6%	12.7%	13.9%	12.4%	13.0%	16.9%	13.8%	11.4%	11.4%	7.3%	12.0%	12.9%	13.7%	14.0%	15.5%	8.9%	11.9%	12.8%	11.4%

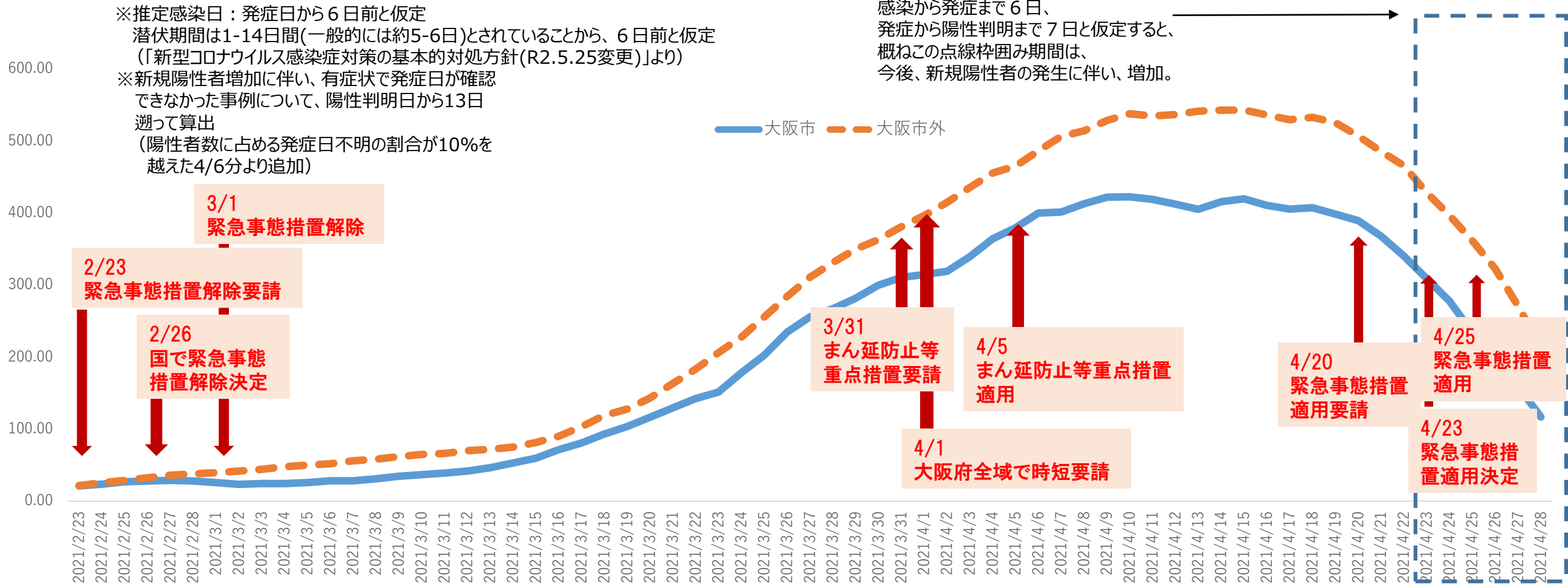
推定感染日別新規陽性者数（大阪市・市外 7日間移動平均）

※市内外は居住地による
 ※発症日が調査中、無症状等を除く

まん延防止等重点措置適用後は横ばいで推移し、緊急事態措置適用要請前後から減少傾向が見られる。
 （ただし、4月6日以降、発症日不明の割合が10%を超過したことから、発症日不明の新規陽性者については、仮定に基づく推定のもと、計上。）

※推定感染日：発症日から6日前と仮定
 潜伏期間は1-14日間（一般的には約5-6日）とされていることから、6日前と仮定
 （「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（R2.5.25変更）」より）
 ※新規陽性者増加に伴い、有症状で発症日が確認できなかった事例について、陽性判明日から13日遡って算出
 （陽性者数に占める発症日不明の割合が10%を越えた4/6分より追加）

感染から発症まで6日、
 発症から陽性判明まで7日と仮定すると、
 概ねこの点線枠囲み期間は、
 今後、新規陽性者の発生に伴い、増加。



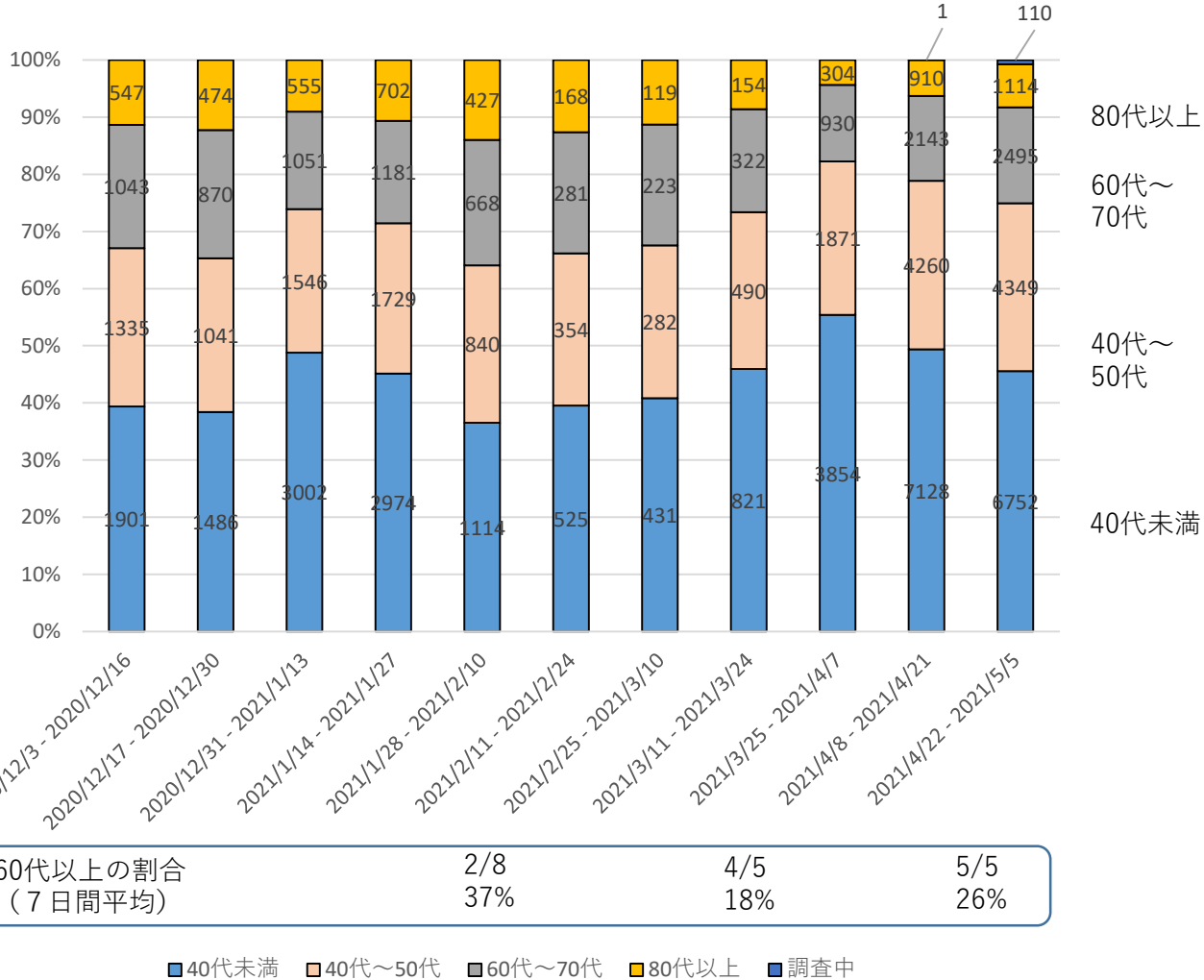
	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5
有症状の陽性者数に占める発症日不明の割合	1.1%	1.7%	2.3%	1.9%	4.7%	0.9%	2.5%	10.5%	13.4%	11.7%	13.9%	11.1%	10.4%	1.7%	9.2%	9.0%	12.3%	13.0%	16.6%	12.7%	13.9%	12.4%	13.0%	16.9%	13.8%	11.4%	11.4%	7.3%	12.0%	12.9%	13.7%	14.0%	15.5%	8.9%	11.9%	12.8%	11.4%

陽性者の年齢区分

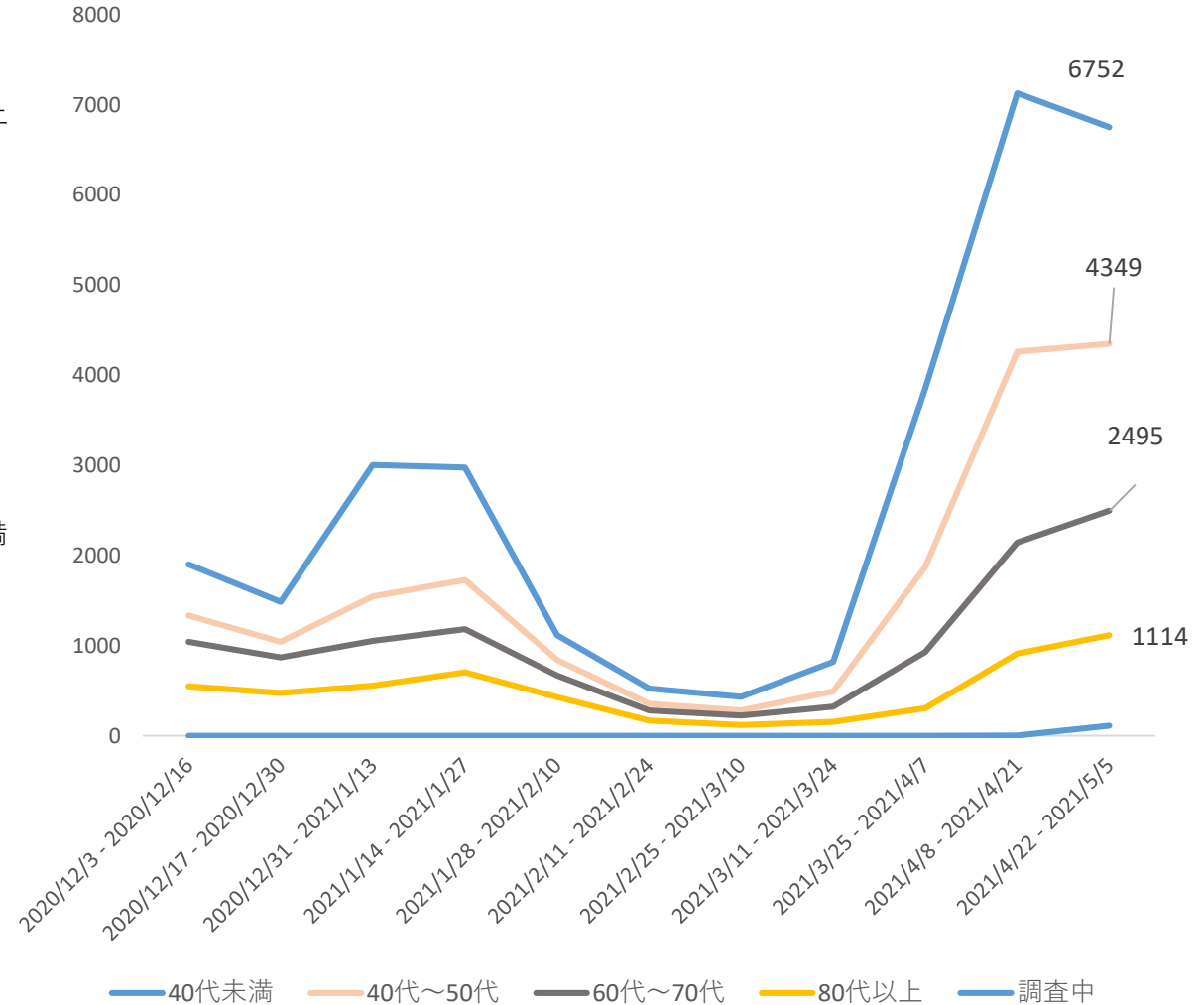
40代未満の割合は減少している一方、60代以上は増加し、陽性者に占める割合は3割弱となっている。

(12月3日以降5月5日までに判明した64,877事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)



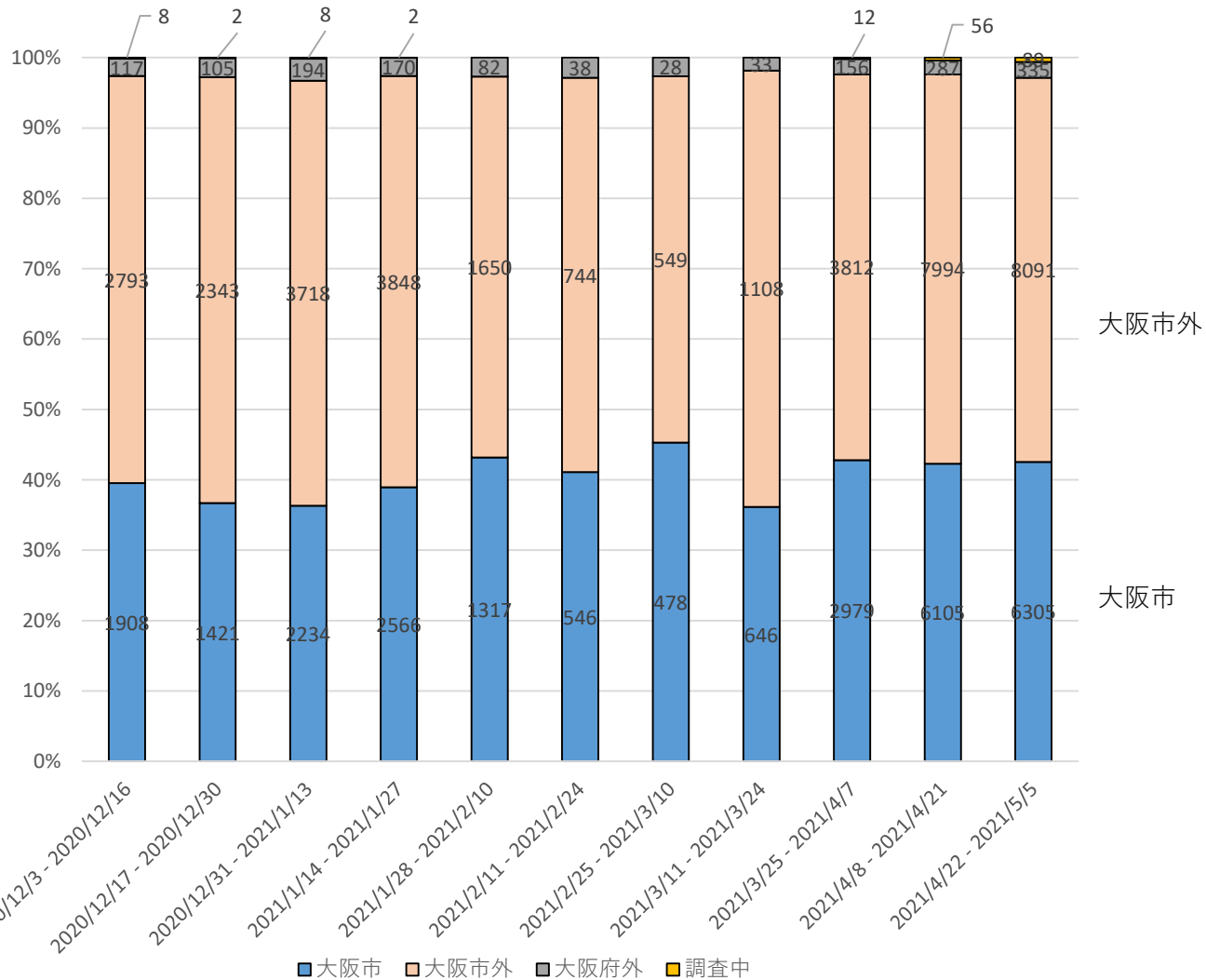
60代以上の割合 (7日間平均)	2/8	4/5	5/5
	37%	18%	26%

陽性者の居住地

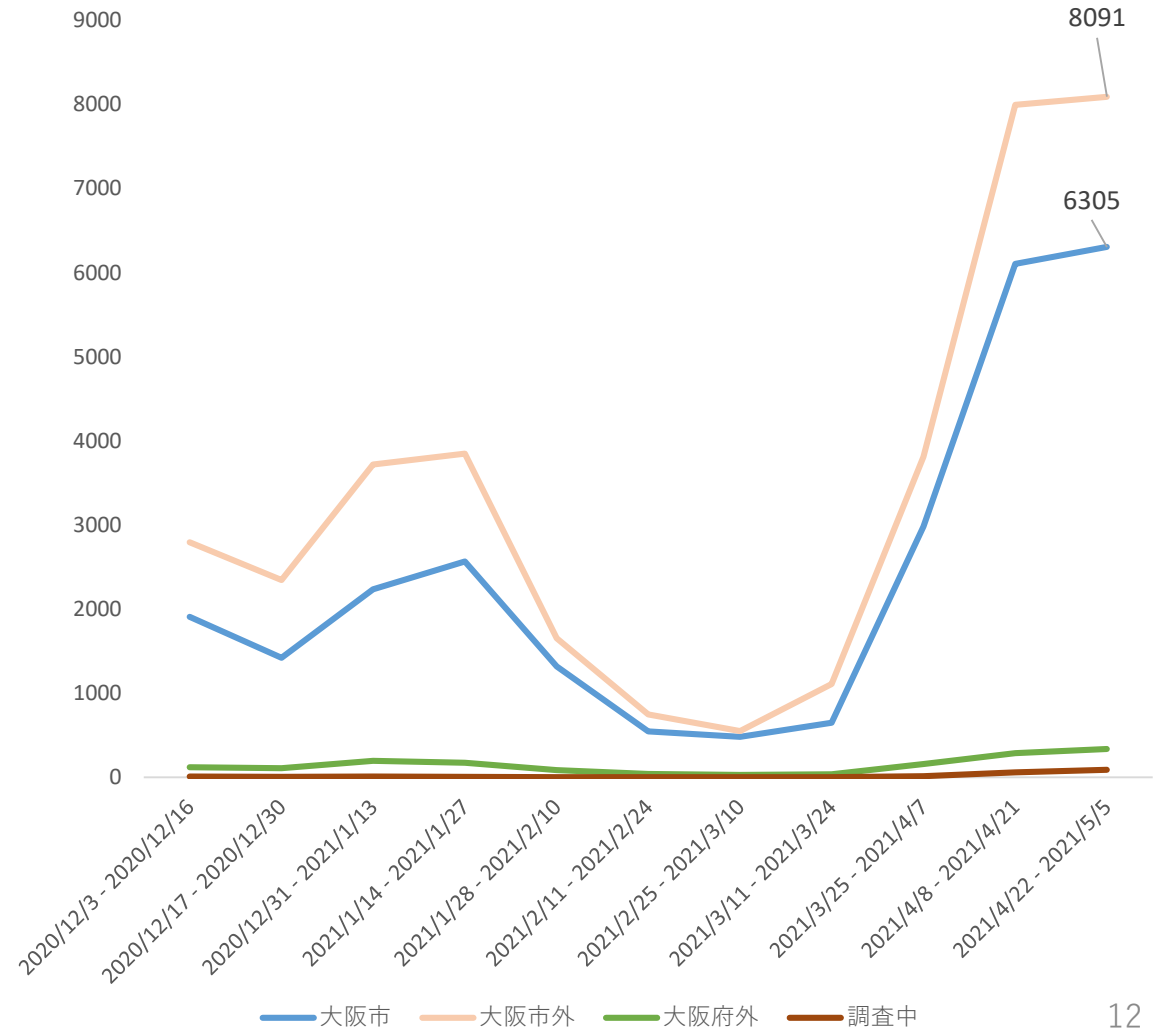
直近1か月で市内外居住者の割合は変わらず、市内居住者が4割強。

(12月3日以降5月5日までに判明した64,877事例の状況)

陽性者の居住地区分 (割合, 2週間単位)



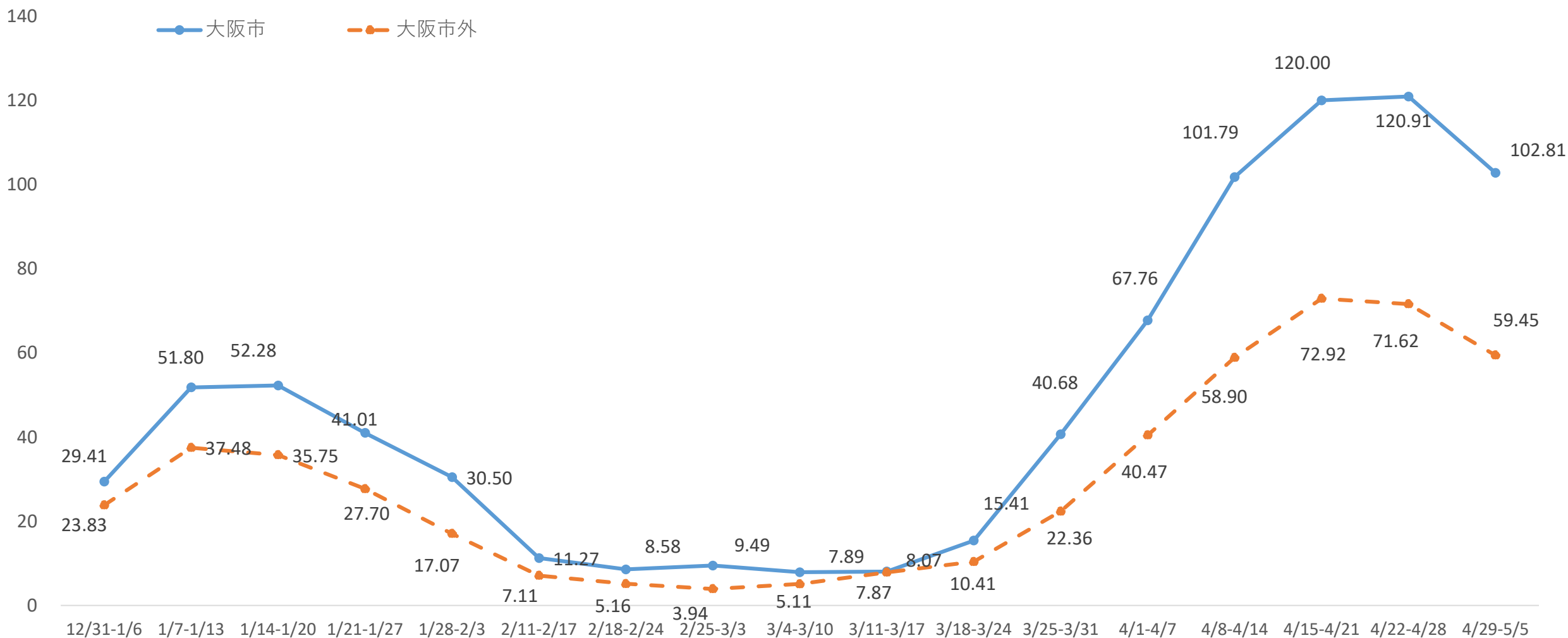
陽性者の居住地区分 (実数, 2週間単位)



大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり 1週間単位）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

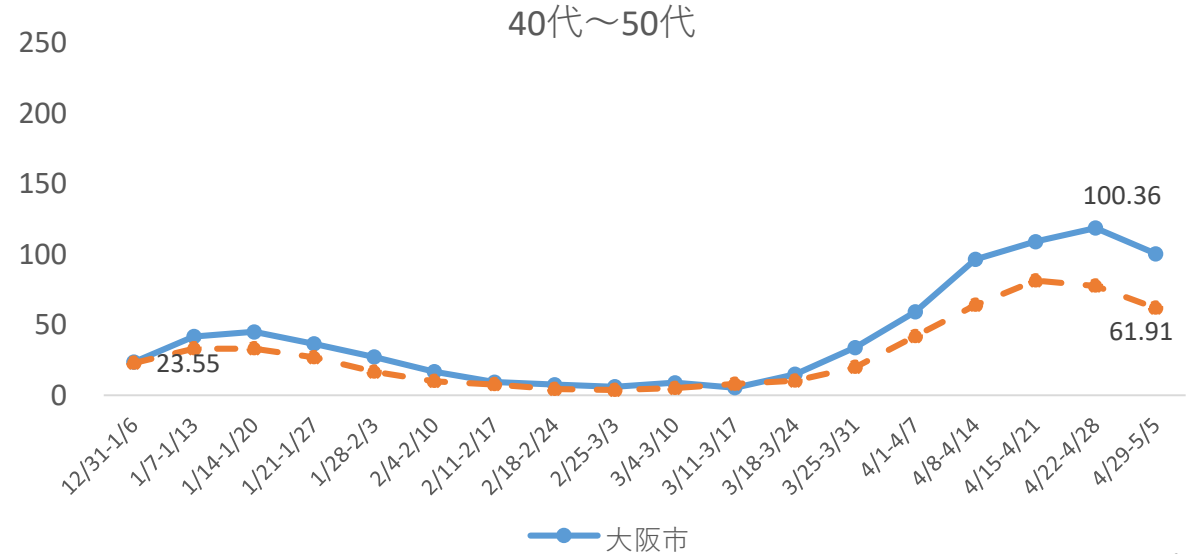
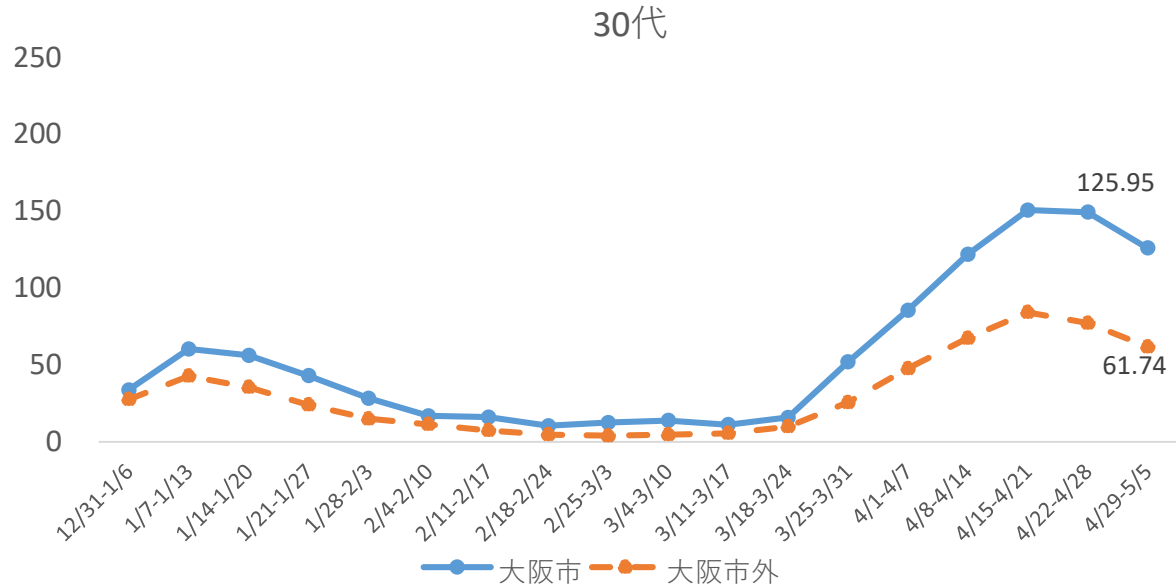
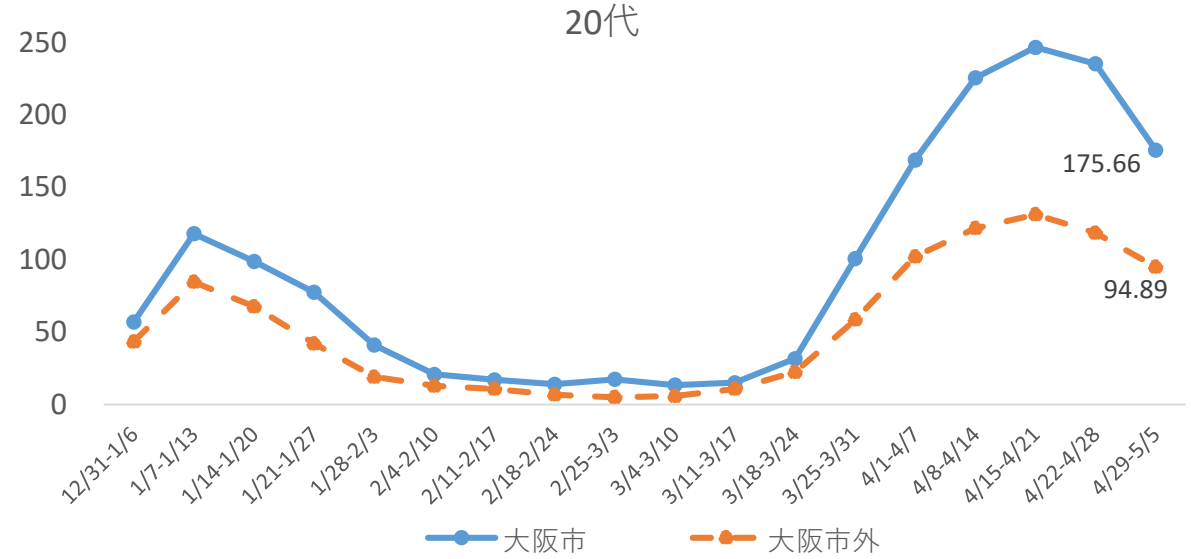
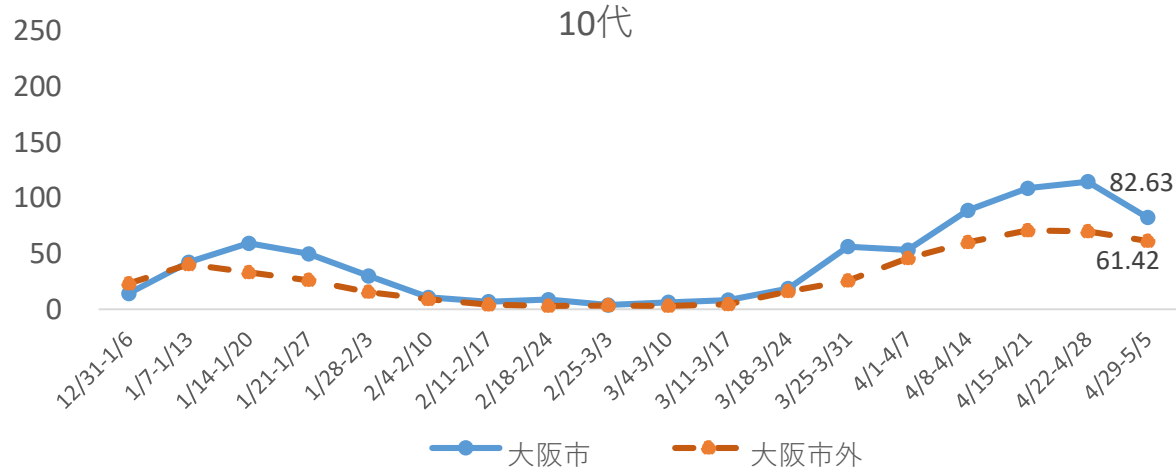
直近1週間で市内居住者ともに減少に転じている。



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

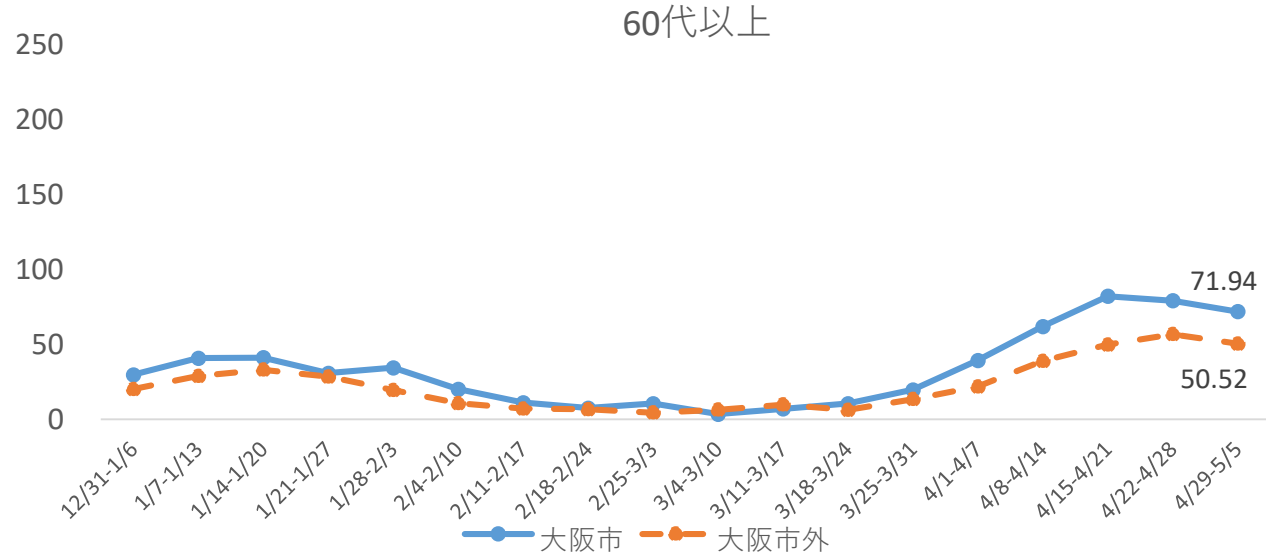
直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数は、全年代で減少。



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

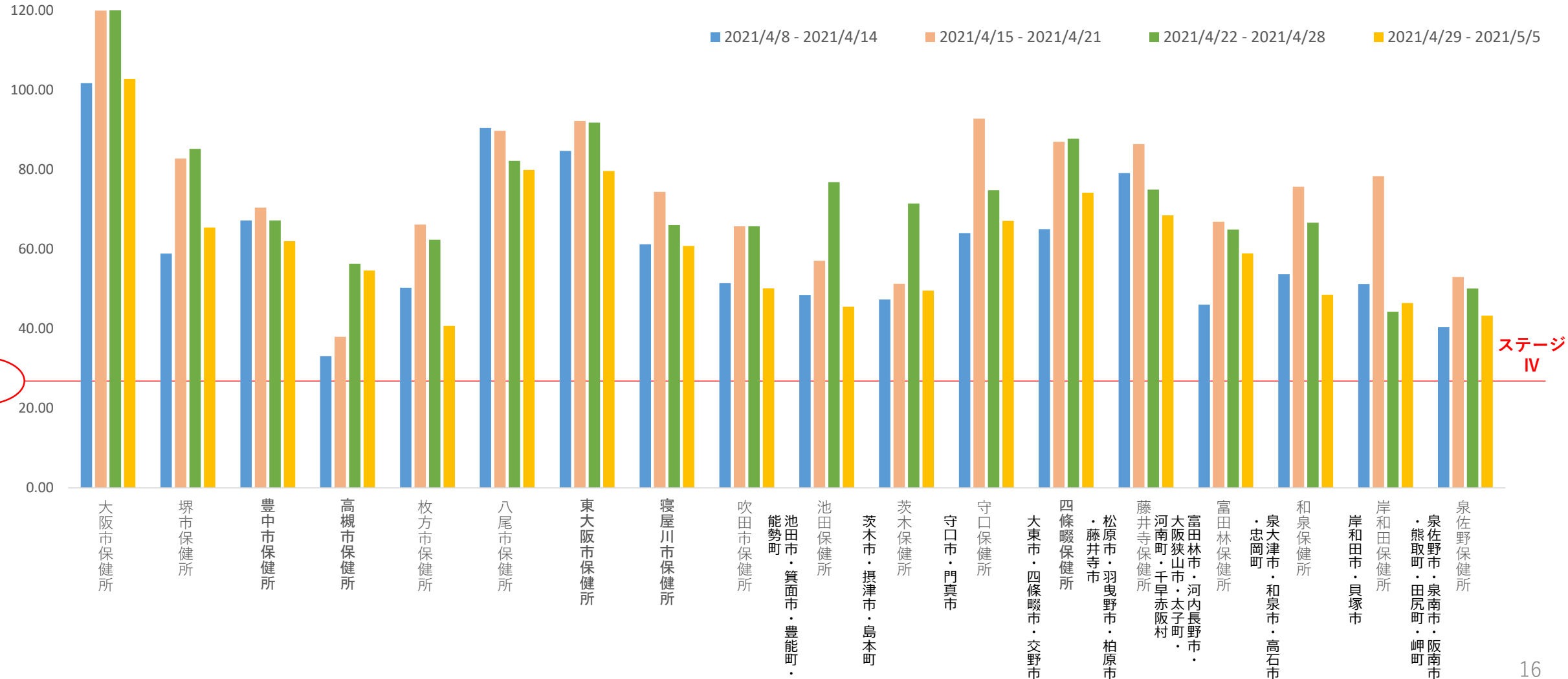
直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数は、全年代で減少。



保健所管内別陽性者比較（人口10万人あたり）

※居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

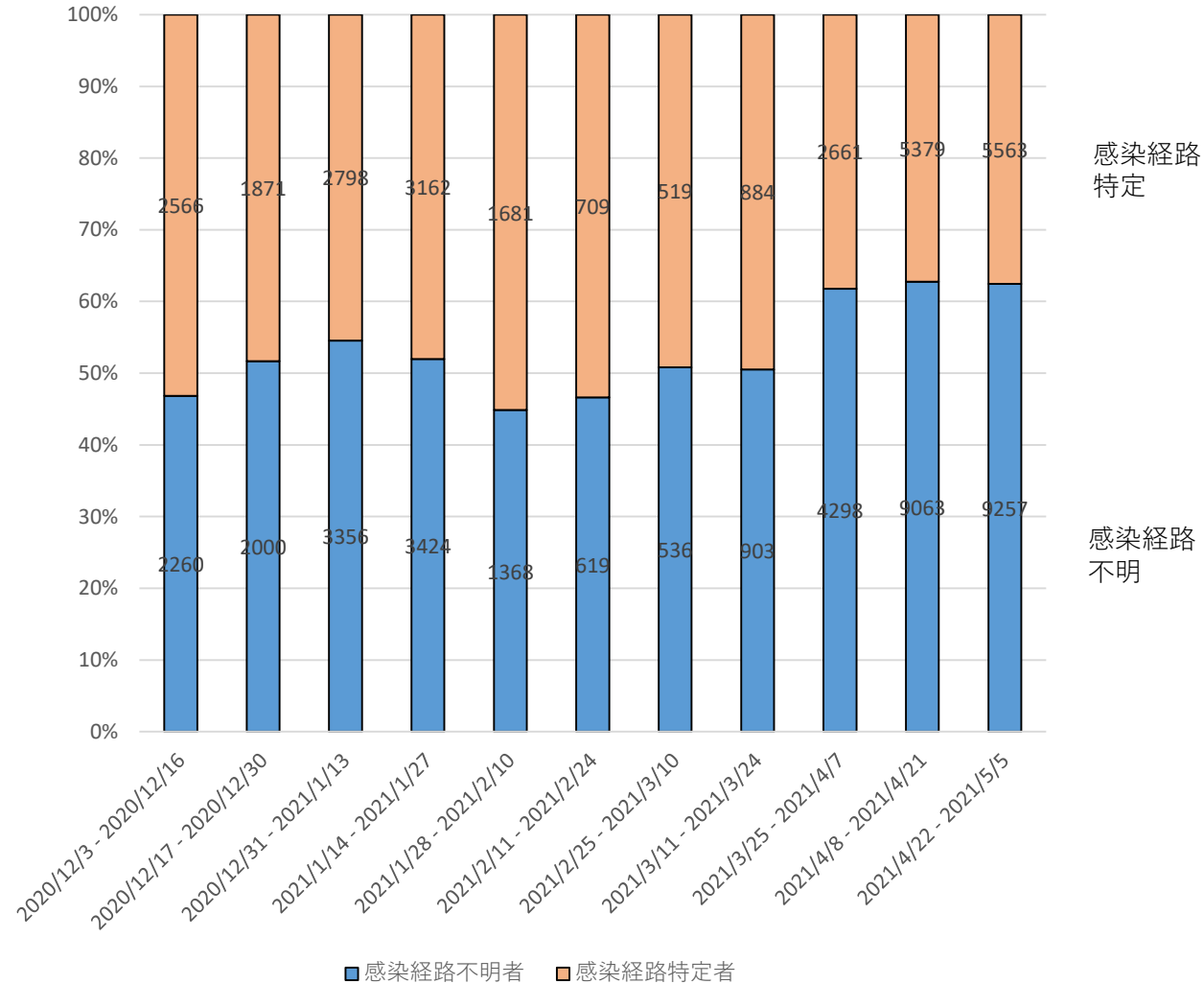
いずれの保健所管内でも新規陽性者数は減少傾向にあるが、ステージⅣの基準を大きく超過。



陽性者の感染経路の状況

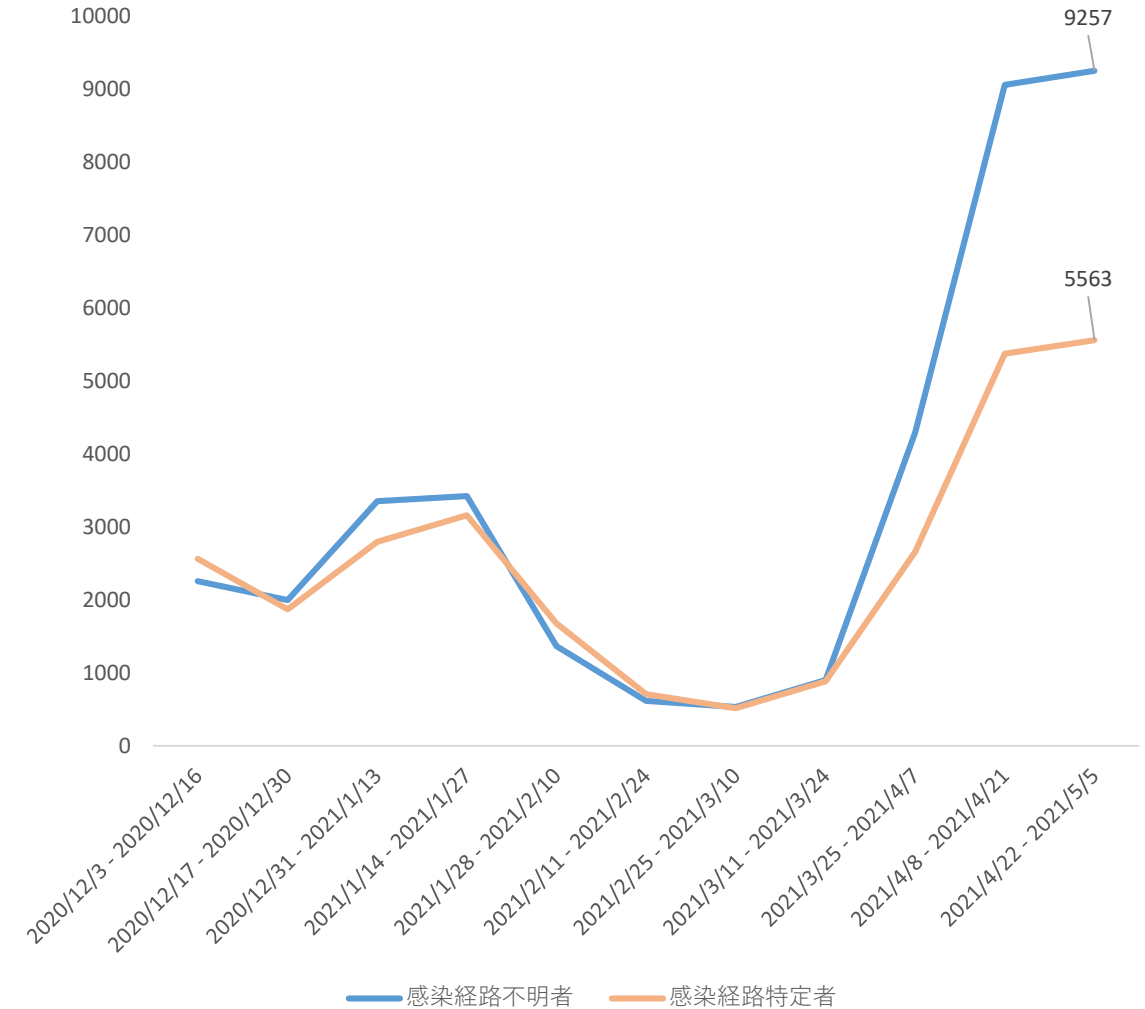
直近1か月で感染経路不明の割合は6割を超過したまま。

感染経路の状況（割合）



(12月3日以降5月5日までに判明した64,877事例の状況)

感染経路の状況（実数）



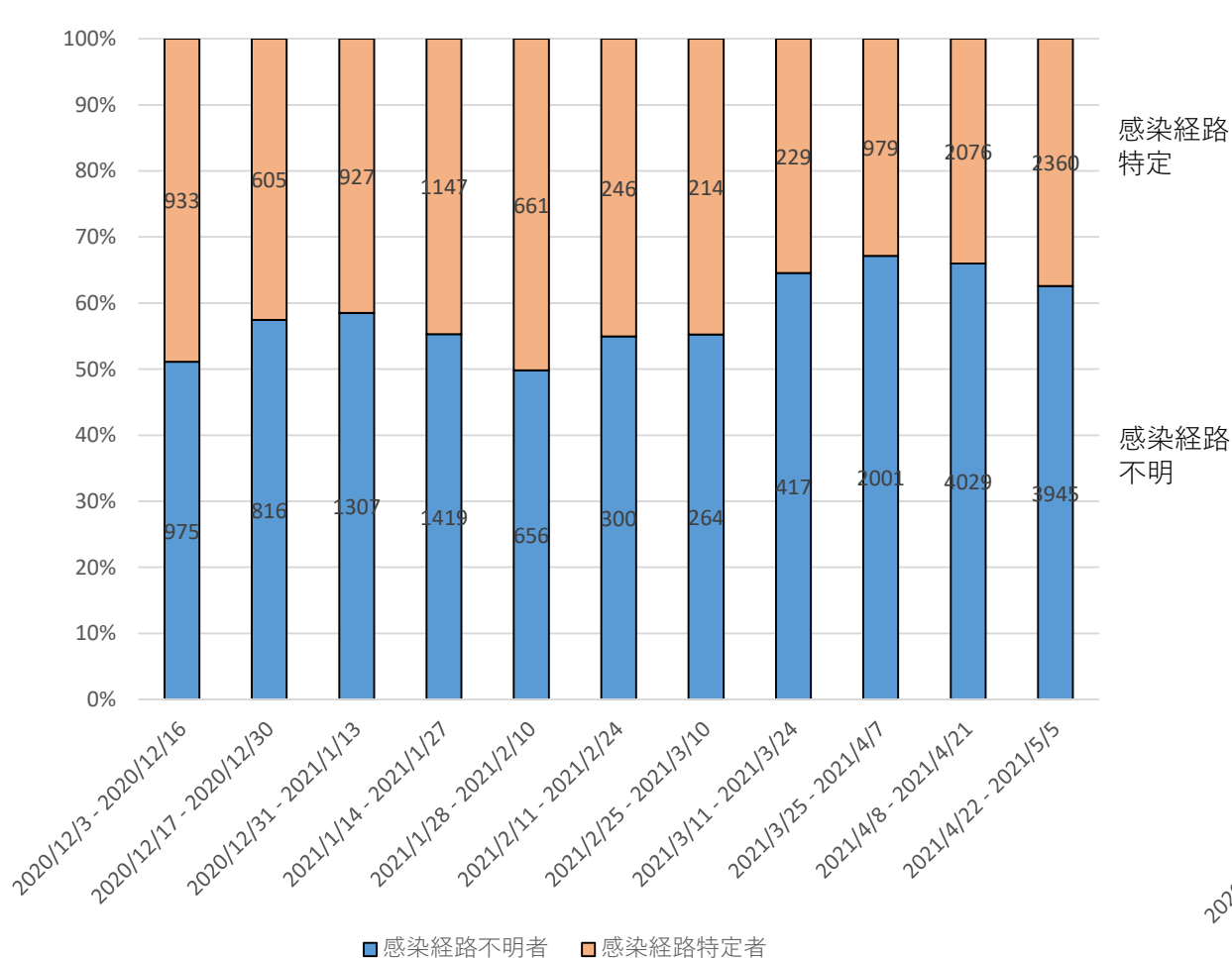
陽性者の感染経路の状況（大阪市内外）

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

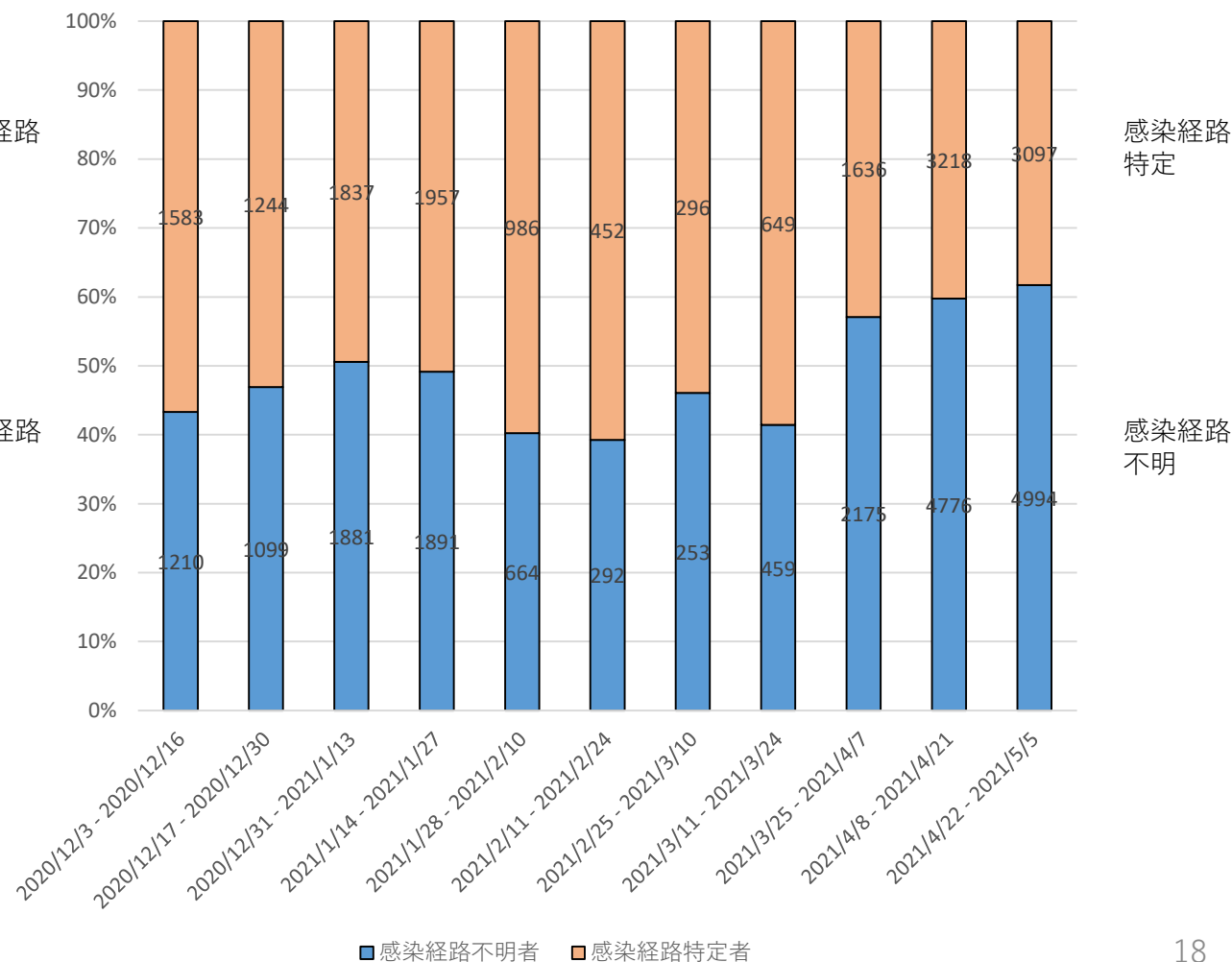
直近2週間の市内居住者の感染経路不明割合は減少しているが、6割強と依然高い。
 市外居住者は増加し、6割を超過。

（12月3日以降5月5日までに判明した64,877事例の状況）

感染経路の状況（大阪市）



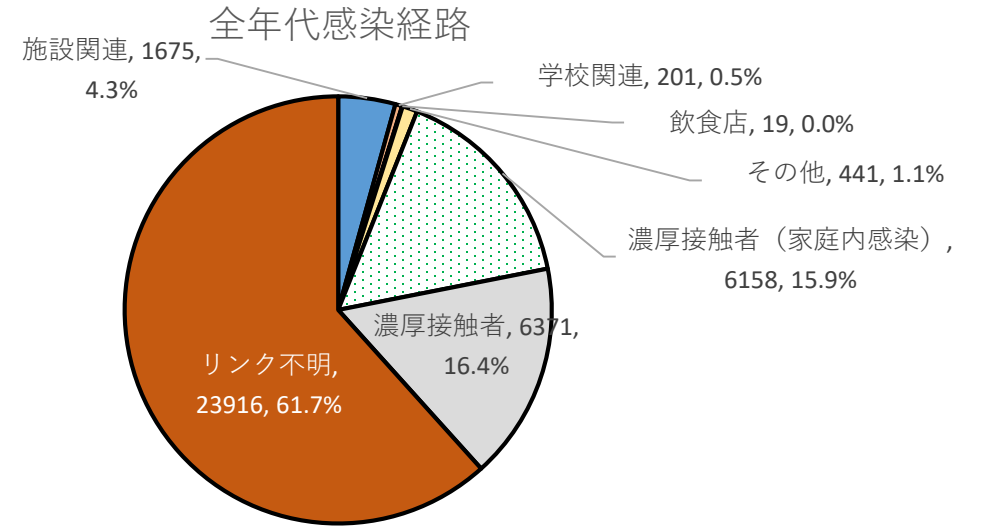
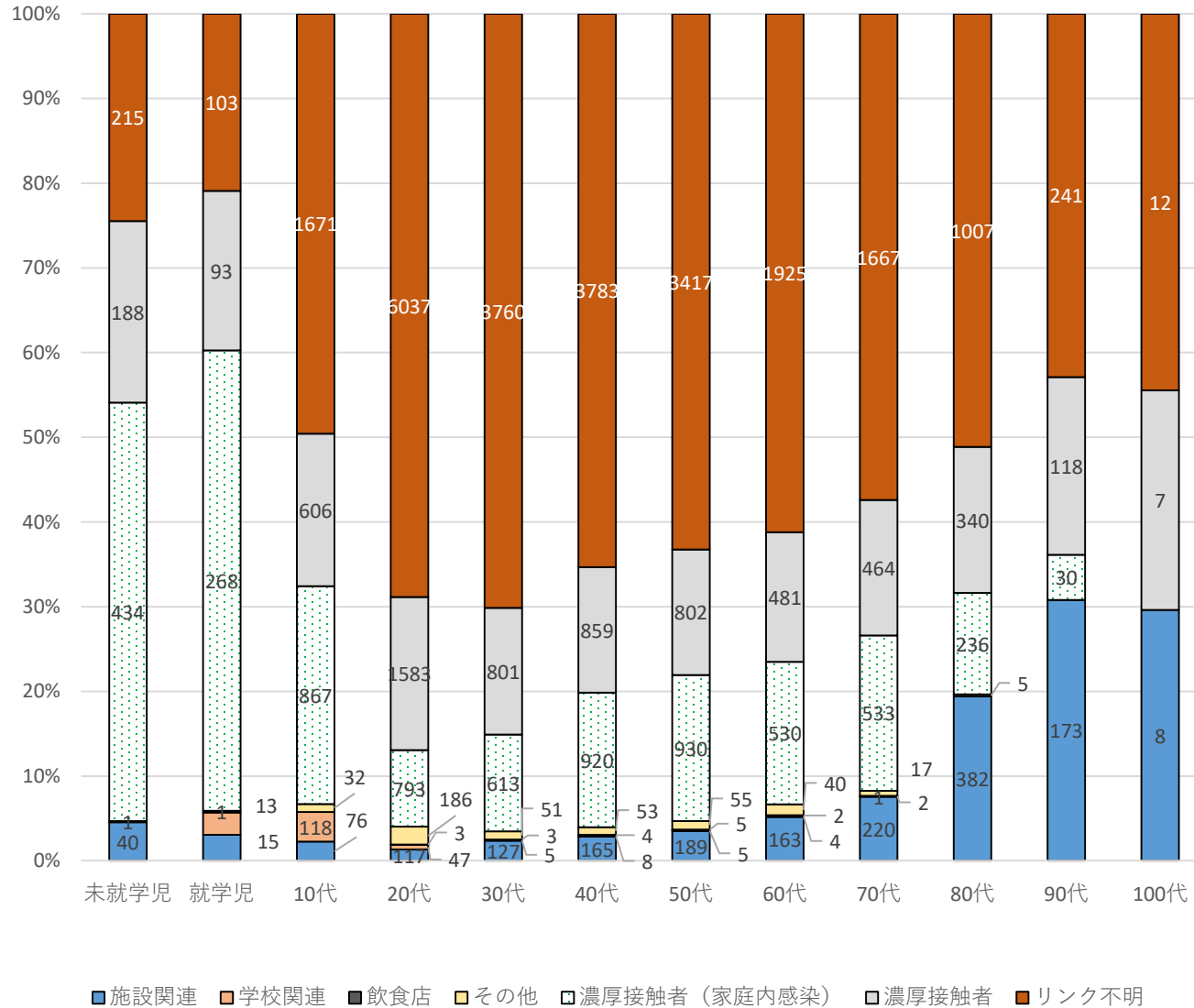
感染経路の状況（大阪市内外）



感染経路（第四波）

（3月1日以降5月5日までに判明した38,781事例の状況）

年代別感染経路



<全年代感染経路>

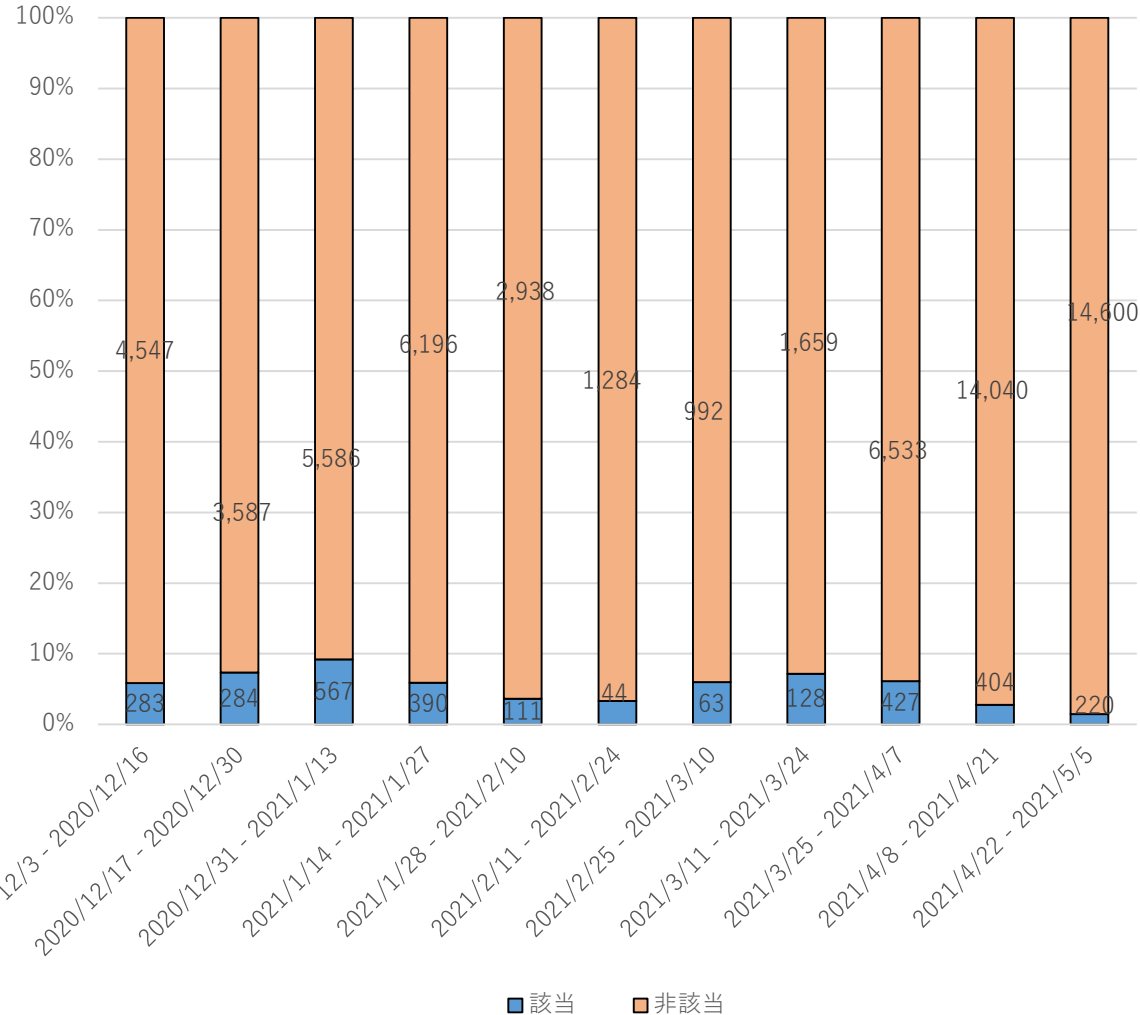
時点	施設関連	学校関連	飲食店	その他	濃厚接触者(家庭内感染)	濃厚接触者	リンク不明
第二波	7.7%	0.5%	0.5%	0.4%	12.3%	18.6%	60.0%
第三波	13.0%	1.2%	0.2%	1.4%	16.7%	14.8%	52.7%
(参考) 第四波 (3/1~3/31)	9.2%	0.8%	0.4%	1.9%	18.3%	12.8%	56.5%
第四波 (3/1~5/5)	4.3%	0.5%	0.0%	1.1%	15.9%	16.4%	61.7%

夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

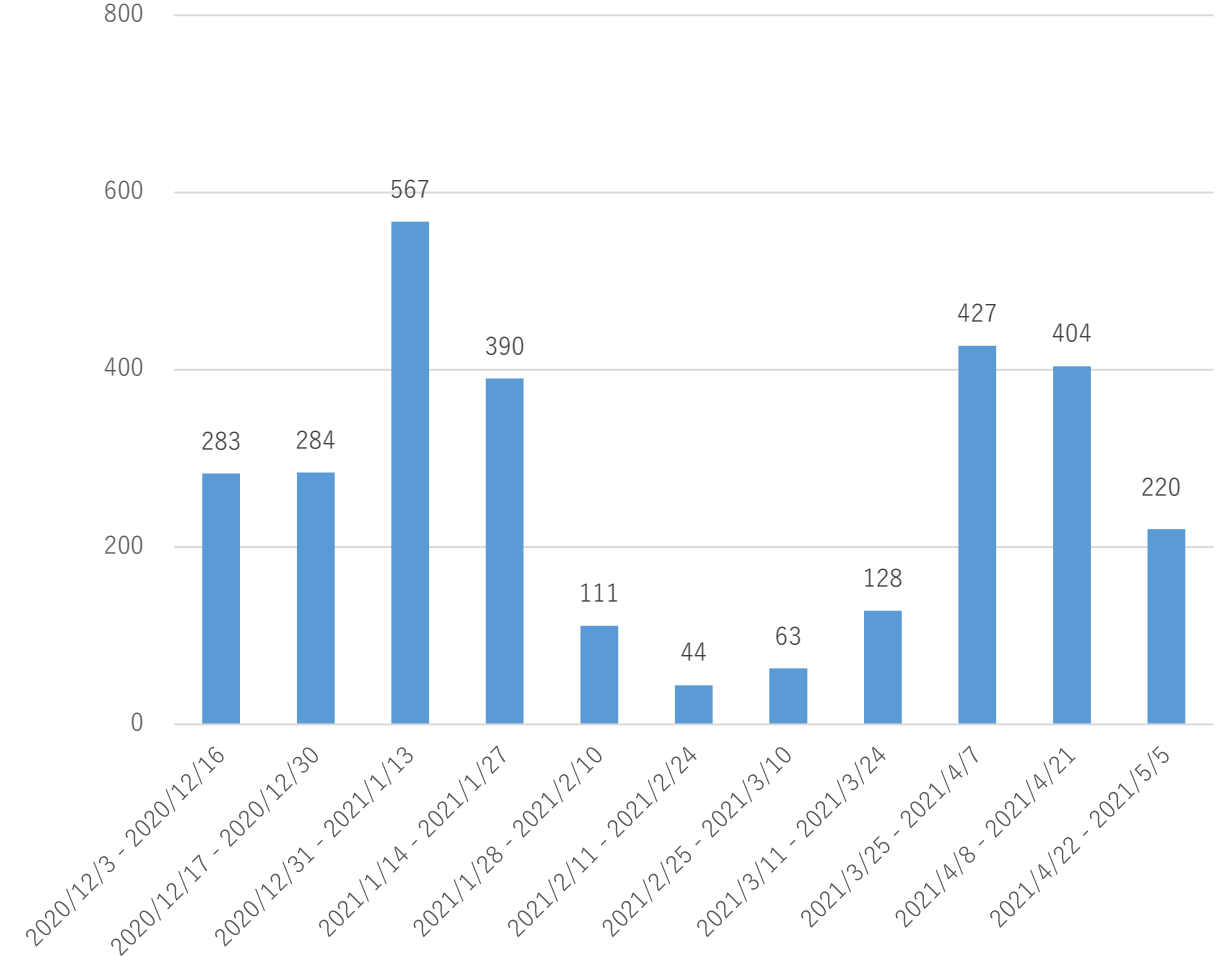
夜の街の関係者及び滞在者の人数は、直近2週間で減少。

（12月3日以降5月5日までに判明した64,877事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）

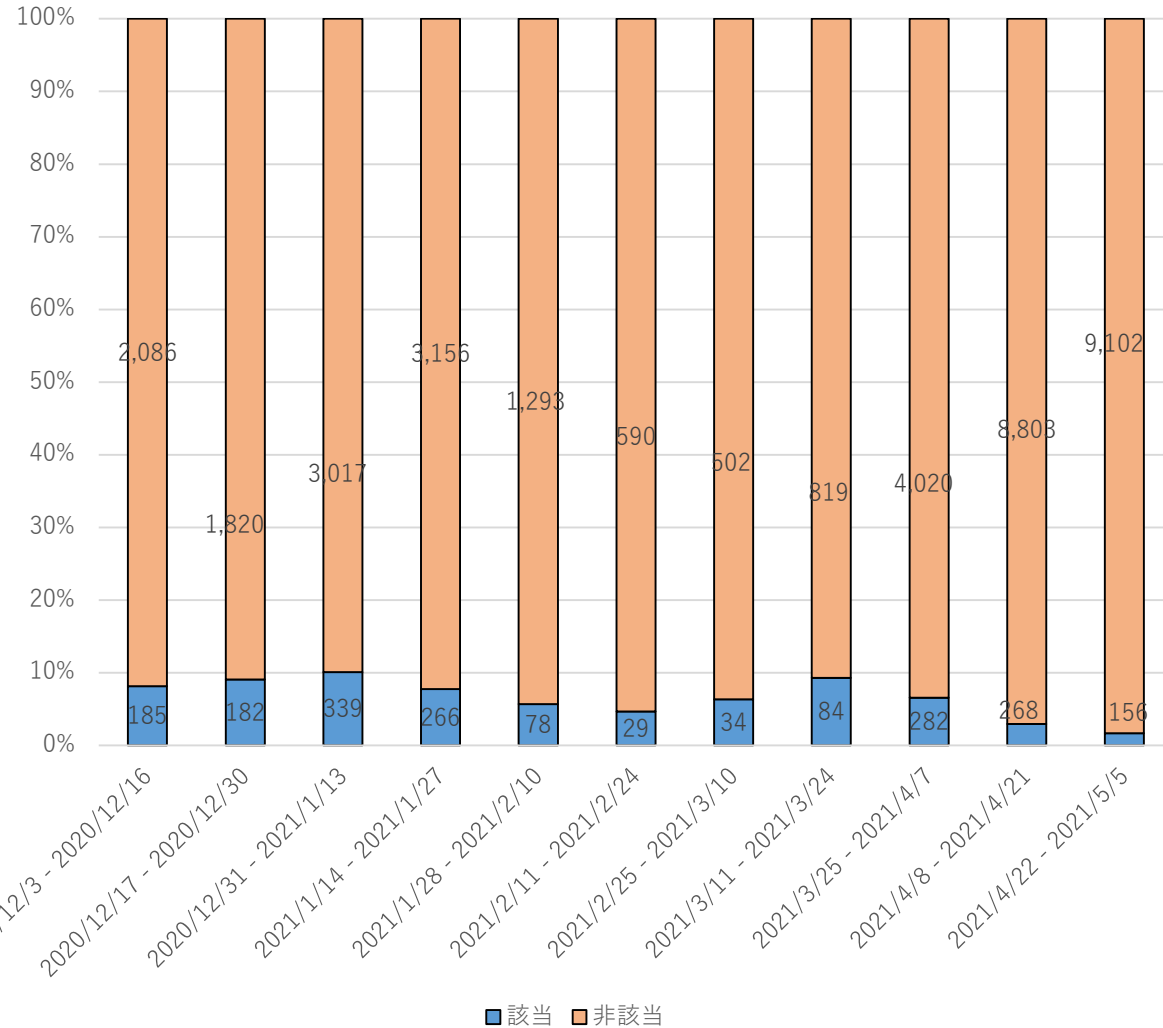


※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による

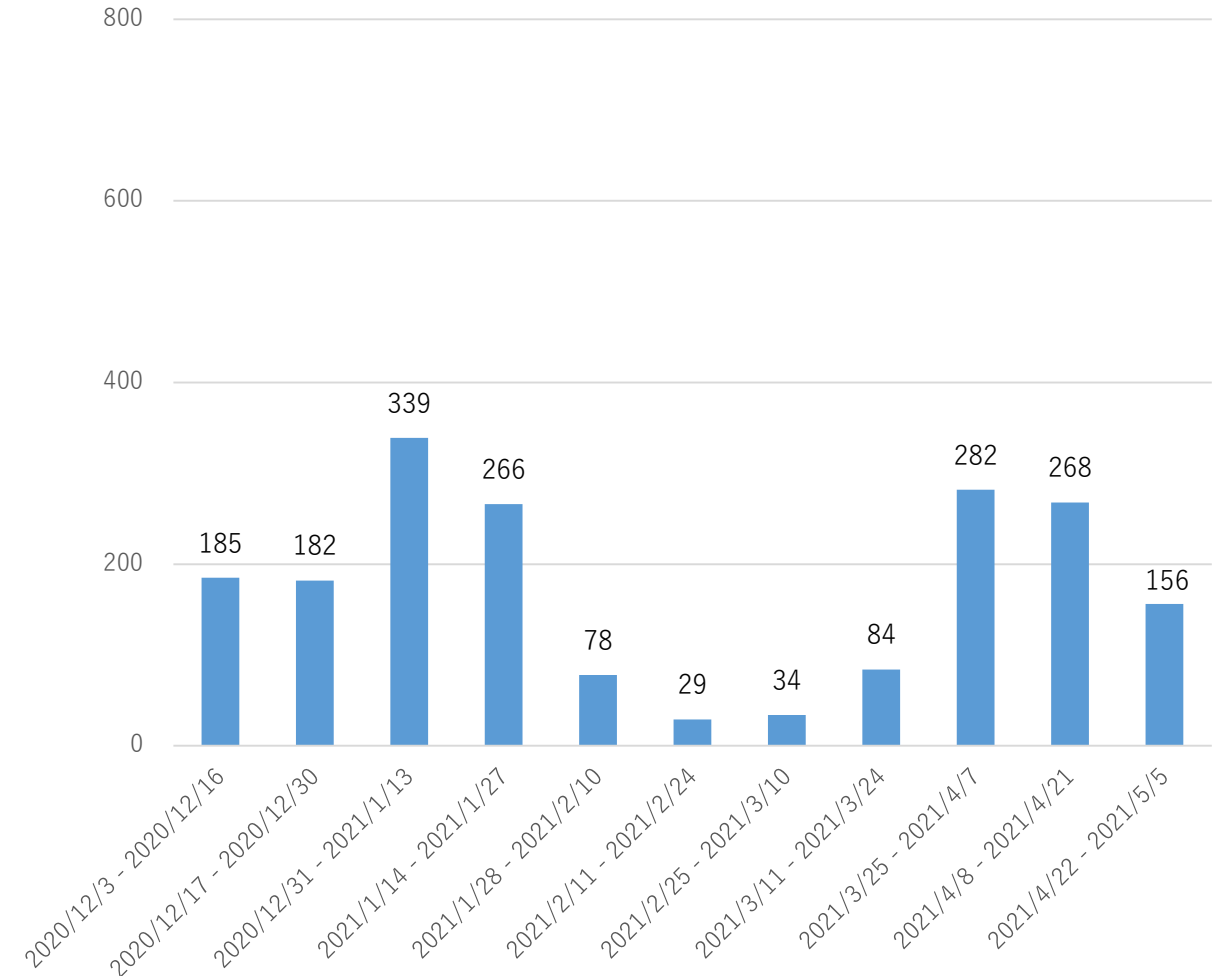
夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明者における該当者）

（12月3日以降5月5日までに判明した感染経路不明者37,111事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：実数）

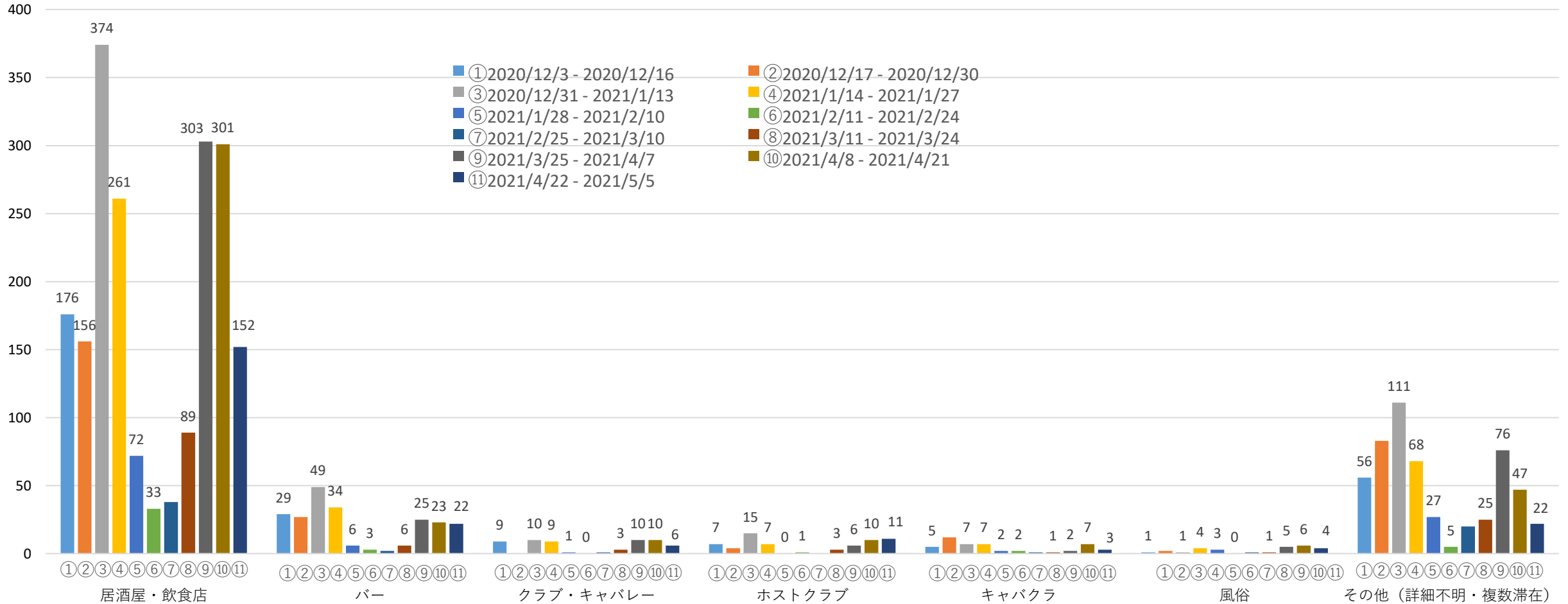


※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による

夜の街の滞在分類別の状況

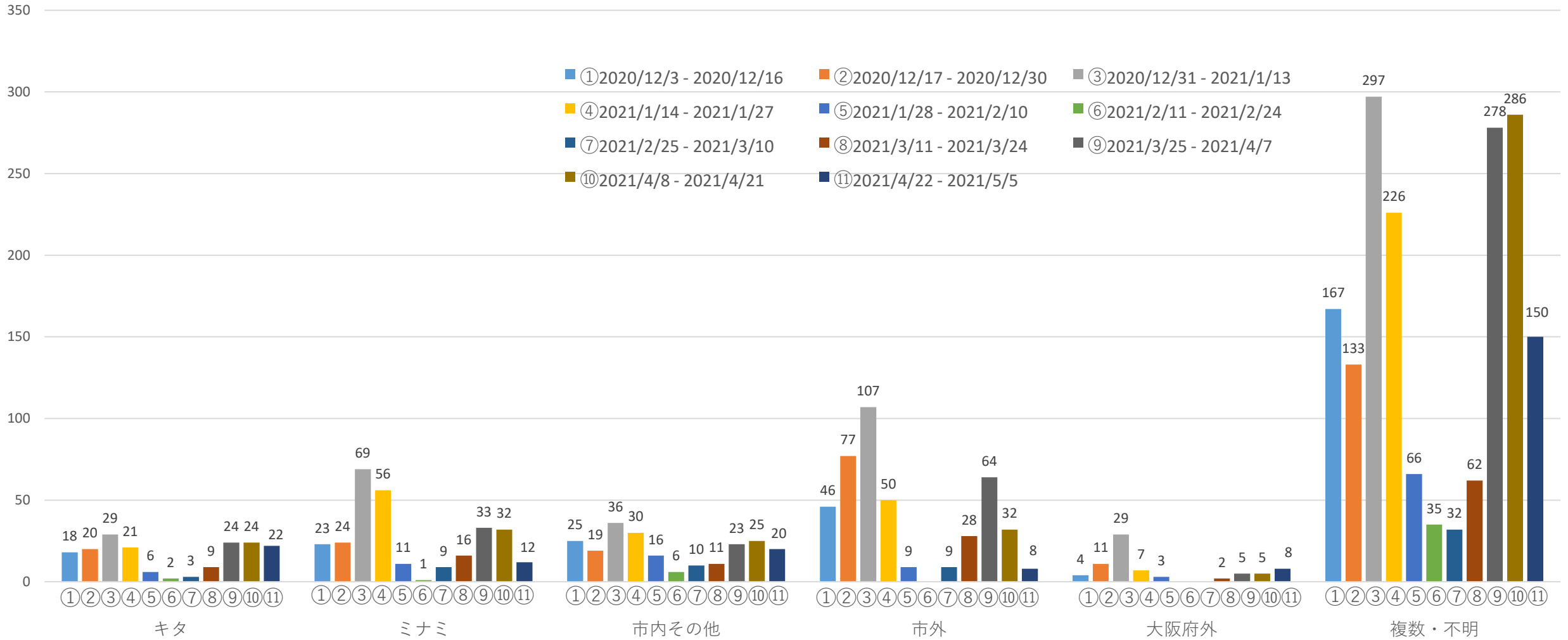
居酒屋・飲食店は、直近2週間で減少しているが、第三波緊急事態措置期間中ほどには減少していない。

(12月3日以降5月5日までに判明した2,921事例の状況)



夜の街の滞在エリア別の状況

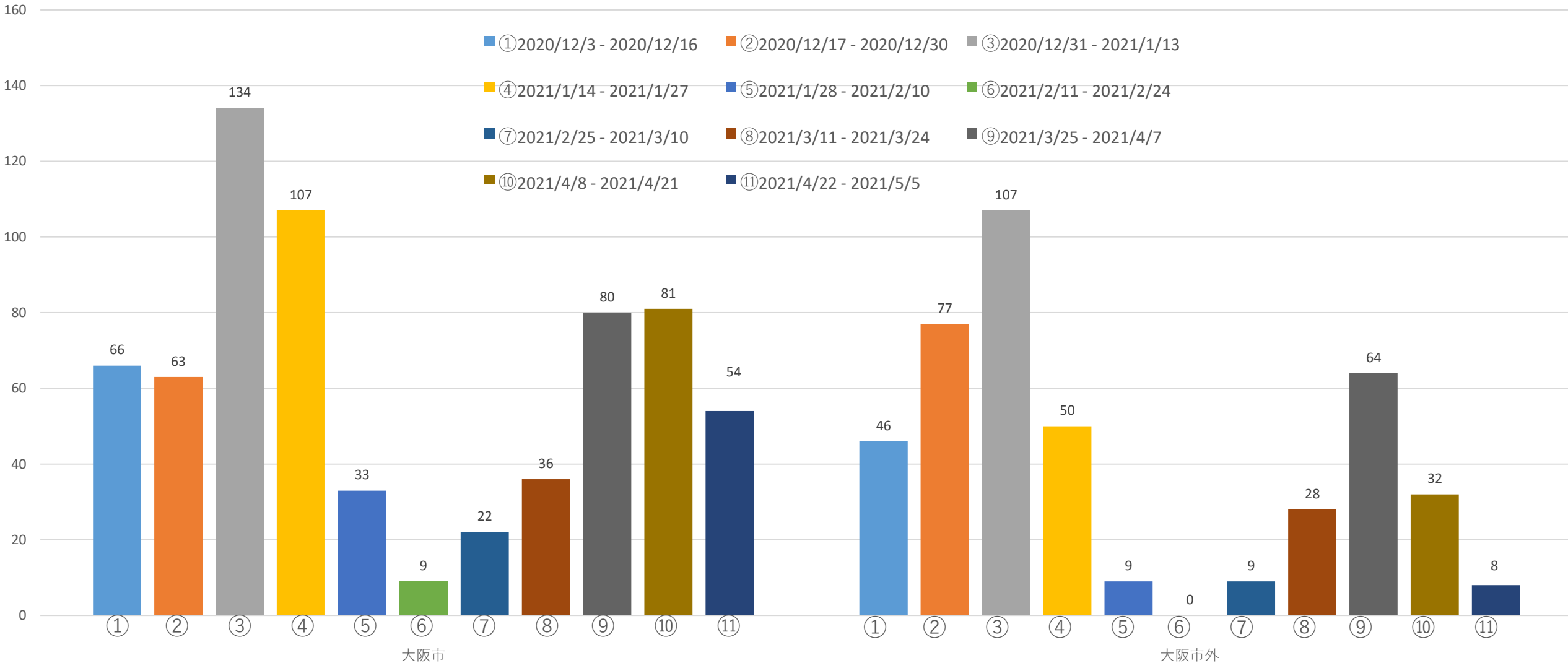
(12月3日以降5月5日までに判明した2,921事例の状況)



夜の街の滞在エリア別の状況

夜の街の滞在エリアとして、市内市外ともに減少。

(12月3日以降5月5日までに判明した2,921事例の状況)



第三波から第四波にかけてのクラスター状況（5月2日時点）

4月12日以降の週では、医療機関関連のクラスター数の割合が増加。大学・学校関連は大きな減少傾向は見られず、企業事業所関連にも大きな減少傾向は見られない。飲食・イベント等関連は急減。

